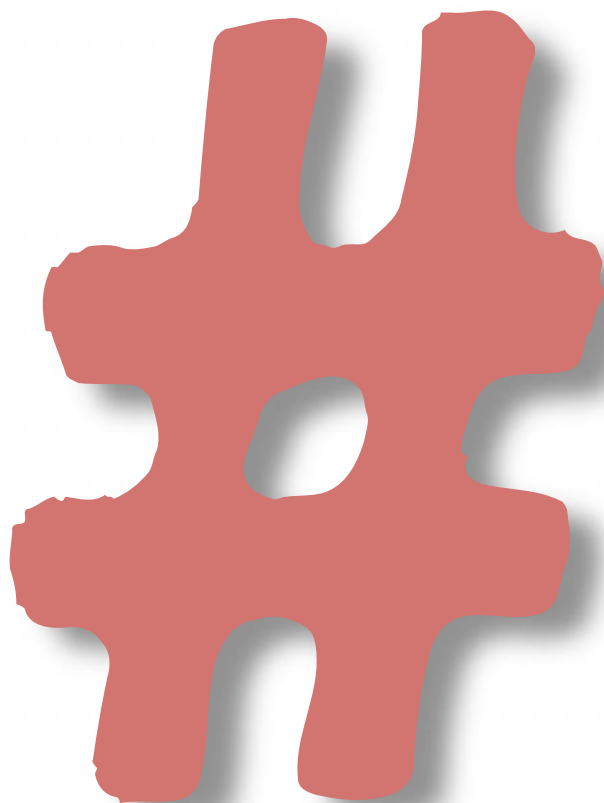


わかる、できる、役に立つ!!

Windows 98の操作も、
この一冊でらくらくマスター!

わかる できる 役に立つ



ファイル管理の基本を
やさしく説明。
保存もコピーもOK!

デスクトップの基本を紹介。

PC98-NX SERIES

VALUE STAR NX

マニュアルを

読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

1

まずこれ!



2

次にこれ!

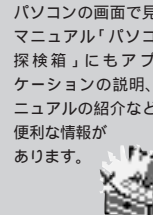
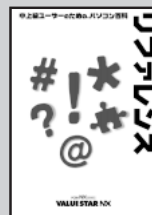


添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

TVモデルではこの他に、『TVモデルガイド』が添付されています。

3

目的に合ったマニュアルを選んで読む



パソコンの画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」にもアプリケーションの説明、マニュアルの紹介などの便利な情報が
あります。



やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい

マウスの使い方を知りたい

キーボードで文字を打ってみたい、ワープロを使いたい

どんなアプリケーションが入っているか知りたい

インターネットを利用したい

インターネットに便利なソフトを使いたい

FAXを送受信したい

年賀状やあいさつ状を作りたい

パソコン用語の意味を知りたい

プリンタをつなぎたい

オプション機器を取り付けたい

Windows 98の機能について知りたい

このパソコンの機能について詳しく知りたい

パソコンが思うように動かない

マニュアル総索引を使いたい

再セットアップしたい

テレビや地上波データ放送を見たい(TVモデルのみ)

STEP 1 接続と準備

STEP 2 入門

STEP 2 入門

STEP 2 入門、パソコン探検箱

インターネット入門、パソコン探検箱

インターネット入門、パソコン探検箱

パソコン探検箱

パソコン探検箱

パソコン探検箱

拡張の手引き

拡張の手引き

STEP 3 活用

リファレンス

困ったときのQ&A

困ったときのQ&A

困ったときのQ&A

TVモデルガイド

はじめに

この本は、『STEP 1 接続と準備』と『STEP 2 入門』を読み終えた方を対象にしています。

この本では、パソコンを使いこなしていくための土台になる、Windowsの基本操作を中心に説明します。パソコンをしばらく利用してから、データの保存場所や自分で作った文書の管理などについて、より深く知りたくなったときに、この本が役に立ちます。

会社や学校で、パソコンを使っている友人と情報交換したり、市販の参考書や雑誌、テレビのパソコン番組などを見たりするときに、Windowsの基礎知識は大切です。この本で、あなたのパソコンライフをより豊かなものにしていただきたいと願っています。

1999年2月 初版

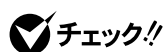
1999年3月 2版

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



そこまでに説明した手順の中で、とくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-ROMドライブ

DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを、CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧ください。購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン

表の各モデル（機種）を指します。

CRTディスプレイ
セットモデル

CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。

液晶ディスプレイ
セットモデル

液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。

ボックスレスタイプ

液晶ディスプレイにパソコン本体を組み込んだモデルのことです。

ディスプレイ
なしモデル

ディスプレイが別売となっているモデルのことです。

CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎9パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC45D/6GC1	PC-VC45D6GC1	コンパクトタイプ	CD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VC45D/6GD1	PC-VC45D6GD1				Wordモデル
VC40D/6YC1	PC-VC40D6YC1			液晶ディスプレイセットモデル (14インチ液晶)	一太郎モデル
VC40D/6YD1	PC-VC40D6YD1				Wordモデル
VC35D/6YC1	PC-VC35D6YC1				一太郎モデル
VC35D/6YD1	PC-VC35D6YD1				Wordモデル
VC35D/6XC1	PC-VC35D6XC1				一太郎モデル
VC35D/6XD1	PC-VC35D6XD1				Wordモデル
VC35D/6XC2	PC-VC35D6XC2				一太郎モデル
VC35D/6XD2	PC-VC35D6XD2				Wordモデル
VC36H/6XC1	PC-VC36H6XC1				一太郎モデル
VC36H/6XD1	PC-VC36H6XD1				Wordモデル
VC36H/6XC2	PC-VC36H6XC2				一太郎モデル
VC36H/6XD2	PC-VC36H6XD2				Wordモデル
VE40D/67C	PC-VE40D67C			CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VE40D/67D	PC-VE40D67D				Wordモデル
VE35D/67C	PC-VE35D67C				一太郎モデル
VE35D/67D	PC-VE35D67D				Wordモデル
VE36H/67C	PC-VE36H67C				一太郎モデル
VE36H/67D	PC-VE36H67D				Wordモデル
VE36H/65C	PC-VE36H65C			CRTディスプレイセットモデル (15インチCRT)	一太郎モデル
VE36H/65D	PC-VE36H65D				Wordモデル
VT35D/67C	PC-VT35D67C	TVモデル	DVD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VT35D/67D	PC-VT35D67D				Wordモデル
VM45J/6GC	PC-VM45J6GC	モニタータイプ	DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VM45J/6GD	PC-VM45J6GD				Wordモデル
VM45J/6ZC	PC-VM45J6ZC			ディスプレイなしモデル	一太郎モデル
VM45J/6ZD	PC-VM45J6ZD				Wordモデル
VF26D/6GC	PC-VF26D6GC	ボックスレスタイプ	CD-ROMモデル	ボックスレスタイプ (15インチ液晶)	一太郎モデル
VF26D/6GD	PC-VF26D6GD				Wordモデル
VF26D/6YC	PC-VF26D6YC			ボックスレスタイプ (14インチ液晶)	一太郎モデル
VF26D/6YD	PC-VF26D6YD				Wordモデル

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
一太郎	一太郎9
一太郎 9パック	一太郎9パック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
インターネット エクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「FullBand」「ATOK」「JustNet」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

パソコン大学は、テラ・コーポレーションの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

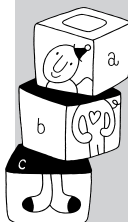
目次

CONTENTS

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



デスクトップを使ってみよう 1

デスクトップってなに? 2

CyberCoach-NX を使ってみる 4

CyberCoach-NX を起動する 4

説明を見る 6

CyberCoach-NX を終わる 6

パソコンの中はどうなっている? 7

マイコンピュータを開いてみよう 7

マイコンピュータの中はこうなっている 8

ドライブを開いてみよう 9

Cドライブを開く 9

Cドライブを閉じる 11

エクスプローラの使いかた 12

エクスプローラを起動する 12

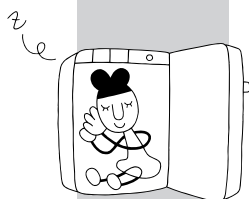
エクスプローラの左側を見る 13

エクスプローラの右側を見る 14

このPARTのまとめ 16

PART

2



ファイルを整理する 17

ファイルの整理 18

新しいフォルダを作る 20

ひとつめのフォルダを作る 20

ふたつめのフォルダを作る 22

ファイルやフォルダの名前を変える 23

フォルダの中にファイルを保存する 24

ペイントを起動する 24

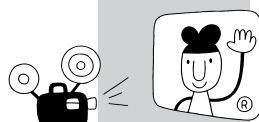
ファイルを保存する 26

ペイントを終わる 28

このPARTのまとめ 29

PART

3



ファイルの移動やコピー 3 1

ファイルを移動する 3 2

テスト 1 のフォルダを開く 3 2

テスト 2 のフォルダを開く 3 4

ファイルを移動する 3 6

ファイルをコピーする 3 8

他のドライブにファイルを移動する 3 9

コピーと移動の使い分け 3 9

ファイルのコピーと移動の応用テクニック 4 0

ファイルを削除する 4 2

いらないファイルはごみ箱へ 4 2

ごみ箱の中のファイルを元に戻す 4 3

ごみ箱の中のファイルを完全に削除する 4 4

ショートカットを作ろう 4 5

ファイルを探す 4 7

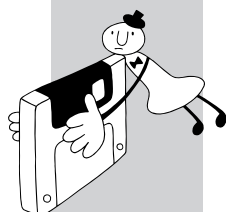
ファイルを検索する 4 7

検索結果の見かた 4 9

この PART のまとめ 5 0

PART

4



フロッピーディスクを使う 5 1

フロッピーディスクを買ってくる 5 2

フロッピーディスクの種類 5 2

結局どんなフロッピーディスクを買えばいいの? 5 3

取扱注意! フロッピーディスク 5 4

フロッピーディスクを使う 5 5

フロッピーディスクを用意する 5 5

フロッピーディスクを入れる 5 5

フロッピーディスクを開く 5 7

フロッピーディスクにファイルをコピーする 6 1

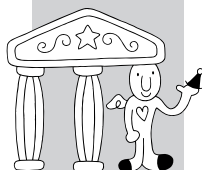
フロッピーディスクを取り出す 6 3

ライトプロテクトする 6 6

フロッピーディスクのファイルを開く 6 7

PART

5



ファイルの大きさを見る 70

このPARTのまとめ 71

設定を変えてみよう 73

画面の設定を変える 74

背景を変える 74

スクリーンセーバーを使う 76

画面の解像度を変える 77

画面の色数を変える 79

コントロールパネルを活用する 81

コントロールパネルを開く 81

デスクトップテーマを使う 83

ヘルプについて 84

Windows のヘルプを見る 84

このPARTのまとめ 90

付 録 91

パソコンでWindows 98 を学ぶ 92

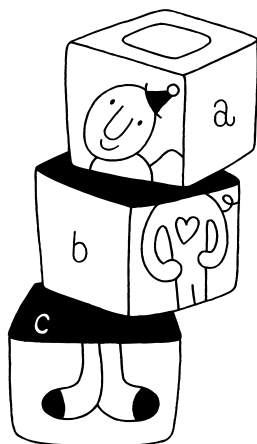
索 引 95

P A R T

1

デスクトップを使ってみよう

Windows 98の画面をデスクトップといいます。まるで、机の上に便箋やペンを置いて手紙を書いたりするような、そんなイメージです。ここで、ハードディスクの中を見たり、アプリケーションを起動したりすることができます。



デスクトップってなに？

このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。
デスクトップには、次のようなものが表示されています。
まだ、画面をクリックしたりしないで、どんなものがあるかを見てください。



「マイコンピュータ」

マイコンピュータはあなたのパソコンです。「ハードディスク」や「フロッピーディスク」や「CD-ROM」の中身を見ることができます。



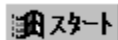
「マイドキュメント」

アプリケーションを使って自分が作ったファイルを保存できます。



「ごみ箱」

いらないファイルやフォルダは、このごみ箱に捨てます。



「スタート」

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、アプリケーションを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows 98を終了したりすることができます。



マイコンピュータ



マイドキュメント



ごみ箱



スタート



AOLで簡単インターネット



インターネットに接続



MSN



The Microsoft Network の...



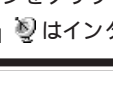
ごみ箱



オンラインサービス



フォルダ



Microsoft Outlook



インターネット無料体験



AOLで簡単インターネット



インターネットに接続



MSN



The Microsoft Network の...



ごみ箱



オンラインサービス



フォルダ



Microsoft Outlook



インターネット無料体験

アイコン

アプリケーションなど、よく使うファイルが、小さい絵(アイコン)で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、アプリケーションを起動したり、ファイルを開くことができます。

クイック起動ツールバー

アイコンをクリックすると、アプリケーションが起動します。

インターネットに接続していないと使えません。

このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows 98は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows 98の顔なのです。

このデスクトップでできること(たとえば、あなたの作ったファイルを整理したり、コピーしたり、アプリケーションを起動したり)を、これからひとつずつ練習していきましょう。

ランチ-NXのウィンドウが開いているときは最小化しましょう。

ランチ-NXのウィンドウは、ウィンドウの右上のをクリックすると最小化(ウィンドウが閉じて、タスクバー上にボタンとして表示されること)されます。

✓チェック!!

まだ、アイコンをクリックしたり、ダブルクリックしたりしないでください。

✓チェック!!

デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。

チャンネル バー

インターネットに接続しているときは、登録されているメニューを見ることができます。インターネットに接続していないときは使えません。

インジケータ領域(タスクトレイ)

音量や日本語入力や画面の設定のためのアイコンが並んでいます。

タスクバー

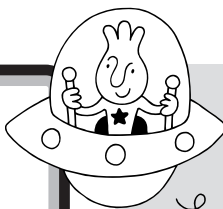
デスクトップのいちばん下には、タスクバーが表示されています。起動しているアプリケーションや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。



ポイント

デスクトップには、アイコンやタスクバーがある。

CyberCoach-NX を 使ってみる



『STEP2 入門』でマウスの練習をしたときと同じように、「CyberCoach-NX」を使って、Windows 98の基本的な操作を学ぶことができます。

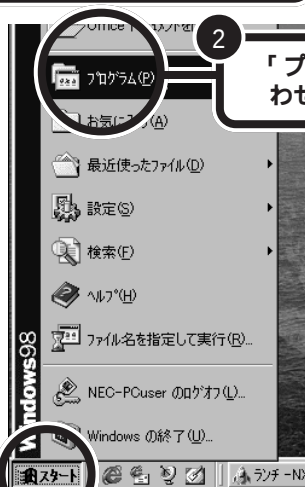
「CyberCoach-NX」を使うと、デスクトップの使いかたやウィンドウの操作など、Windows 98の基本的な操作を学ぶことができます。いままで覚えてきたことを忘れてしまったときや、もういちど確認したいときなどに使ってみるとよいでしょう。

CyberCoach-NX を起動する

アプリケーションは、「スタート」から起動します。
画面左下の「スタート」をクリックすると、その上にメニューが表示されます。これを「スタートメニュー」といいます。
「プログラム」をポイントして、右側に表示されるメニューから選びます。

1

「スタート」をクリックし、



2

「プログラム」にマウスを合わせて、

3

そーっと右側にマウスを動かす



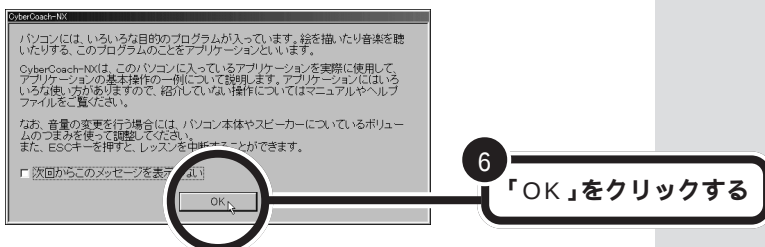
ランチ-NXでは、「メインメニュー」の、「CyberCoach-NX(操作レッスン)」をクリックすると「CyberCoach-NX」が起動しましたが、Windows 98のデスクトップでは、このようにして「CyberCoach-NX」を起動します。

 参照

ランチ-NXの使いかた→『STEP2 入門』PART4の「ランチ-NXは、ソフトの発射台」

マウスが上下に動くと、「プログラム」以外のものが選ばれてしまうので、マウスは水平に動かしてください。

「CyberCoach-NX」では、画面と音声を使って操作の説明をしています。音声が届くように音量を調整してください。



数秒後に、新しい画面が出てきます。

説明を見る

ここでは、「ウィンドウを操作する」または「デスクトップを使う」を見てみましょう。

1

「ウィンドウを操作する」または「デスクトップを使う」をクリックする



画面と音声で説明が始まります。「ウィンドウを操作する」と「デスクトップを使う」では、マウスの操作などは必要ありませんので、じっくり見て学習しましょう。

2

説明が終わったら、「終了」をクリックする

CyberCoach-NX の最初の画面に戻ります。

✓チェック!!

まちがった項目をクリックして、違う画面が表示されたときは、キーボードの【Esc】を押してください。CyberCoach-NXの最初の画面に戻ります。見たい項目をクリックし直してください。

また、【Esc】を押したあと、「レッスンを中止します。レッスンで起動したプログラムをそのまま使用しますか?」と表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。CyberCoach-NXの最初の画面に戻ることができます。

「ウィンドウを操作する」では、次の説明を見ることができます。

- ウィンドウの移動
- ウィンドウの最大化、最小化
- ウィンドウの大きさを変える

「デスクトップを使う」では、次の説明を見ることができます。

- アイコンについて
- タスクバーについて
- スタートボタン

CyberCoach-NX を終わる

1

「終了」をクリックする



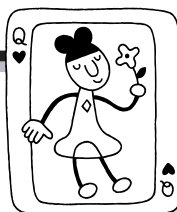
「パソコン大学一年生 for Windows 98」でも Windows 98 の基本操作を学ぶことができます。

📖 参照

「パソコン大学一年生 for Windows 98」で Windows 98 の基本操作を学ぶ→付録の「パソコンでWindows 98 を学ぶ」(p.92)

パソコンの中は どうなっているの？

デスクトップの左上の「マイコンピュータ」を開くと、あなたのパソコンに、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM などがあるのがわかります。



マイコンピュータを開いてみよう

「マイコンピュータ」を開いてみましょう。

1

デスクトップ左上の (マイコンピュータ) までマウスを動かして、ダブルクリックする

すばやく2回
クリックする



「マイコンピュータ」
のウィンドウが表示
される



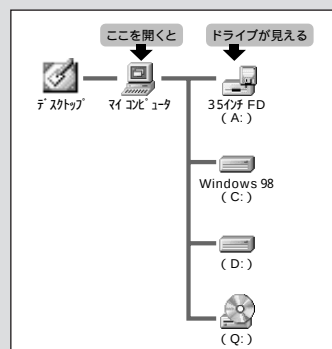
用語

ディスク、ドライブ

ディスクは、コンピュータのいろいろな情報を記録するための円盤で、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMなどの種類があります。

ドライブは、ディスクに情報を記録(保存)したり、呼び出したりする装置です。

このパソコンには、ハードディスクのドライブ、フロッピーディスクのドライブ、CD-ROMのドライブなどがついています。



「マイコンピュータ」のウィンドウが小さいときは、ウィンドウの左側の「マイコンピュータ」のアイコンや解説が表示されません。ウィンドウの右下のすみの の部分にマウスを合わせて、 に変わってからマウスのボタンを押したまま、マウスを右下に動かして、ボタンをはなすと、ウィンドウが大きくなります。

マイコンピュータの中はこうなっている

ここでは何も操作せずに、マイコンピュータの中に何があるか、画面で確認してみましょう。

●ドライブのアイコン

このパソコンには、ハードディスクと3.5 インチフロッピーディスクとCD-ROM(またはDVD-ROM)のドライブがあります。

本当は、ハードディスクはひとつしか内蔵されていませんが、いくつかのハードディスクとして使えるように分割されています。購入時は、Dドライブは空です。



3.5 インチFD(A:)
フロッピーディスクドライブです。Aドライブともいいます。



Windows 98(C:)
パソコン本体の中のハードディスクドライブです。Cドライブと呼びます。

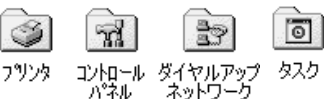


(Q:)
CD-ROMドライブです。CD-ROMは読み込み専用なので、この中にファイルやフォルダを保存することはできません。

(Q:)は、DVD-ROM モデルではDVD-ROM ドライブです。



ドライブ以外のアイコンは、あなたのパソコンの設定を変えたりするためのアイコンです。



プリンタ コントロール パネル ダイアルアップ ネットワーク タスク

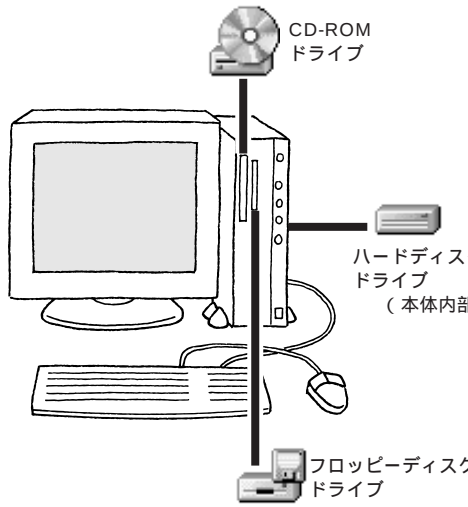
右側のアイコンをクリックすると、クリックしたアイコンに関することがここに表示されます。



ポイント

「マイコンピュータ」の中には、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどのドライブのアイコンと、設定するためのアイコンがある。

パソコンでいうと



CD-ROM ドライブ

ハードディスクドライブ (本体内部)

フロッピーディスクドライブ

これはコンパクトタイプの例です

ドライブを 開いてみよう



ドライブの中に、どんなファイルやフォルダがあるかを知りたいときは、ドライブやフォルダのアイコンをダブルクリックします。そうすると、ウィンドウが開き、その中にあるファイルやフォルダのアイコンが表示されます。

用語

フォルダ

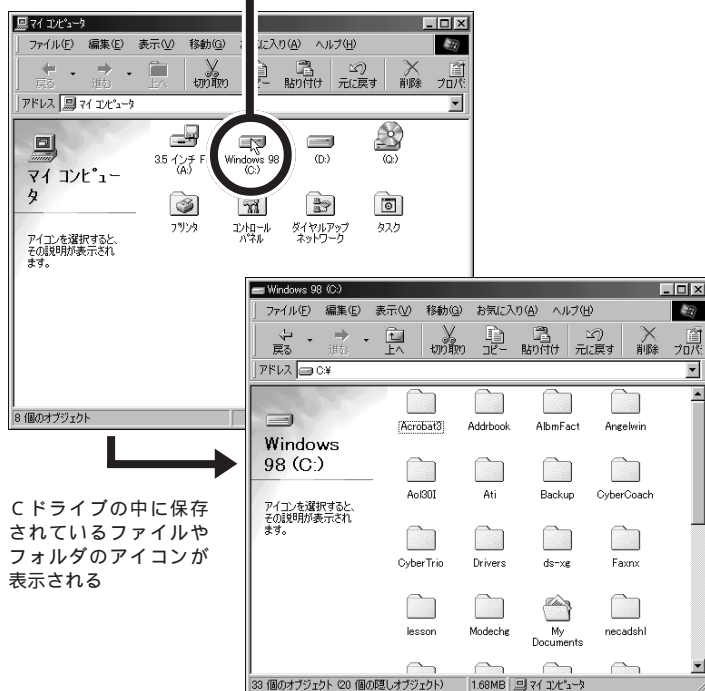
フォルダは、ファイルを整理して保存しておくための入れものです。関連するファイルをまとめて入れておきます。フォルダの中にフォルダを入れておくこともできます。

Cドライブを開く

それでは、Cドライブ(Windows 98(C:))の中がどうなっているか見てみましょう。

1

(Windows 98(C:))をダブルクリックする



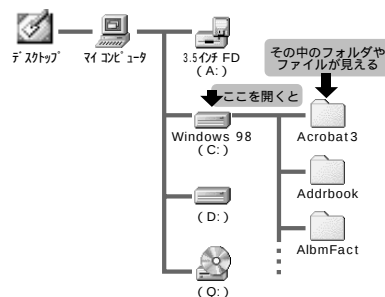
Cドライブの中に保存されているファイルやフォルダのアイコンが表示される



ポイント

ドライブのアイコンを開くと、中のファイルやフォルダを見ることができる。

このような操作を、「ドライブやフォルダを開く」といいます。フォルダの中のフォルダも、同じように開くことができます。

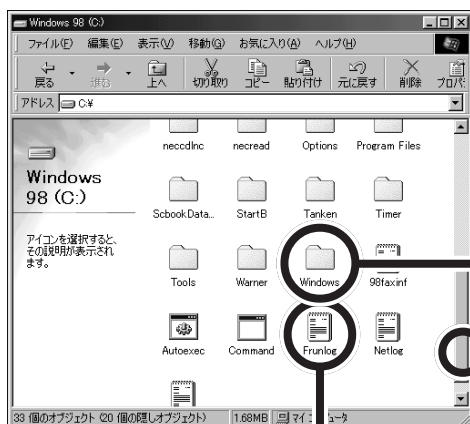


● ウィンドウのかくれている部分を見る(スクロール)

Cドライブの中身が表示されましたが、これで全部見えているわけではありません。もっと下の方にもフォルダやファイルがあります。ウィンドウをスクロールして、「Windows」というフォルダを探してみましょう。



ここを下にゆっくりドラッグする
つまり、ここにマウスを合わせて、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを下に動かす



これが「Windows」のフォルダです

これはファイルのアイコンです。ファイルは下の方に表示されます

「Windows」フォルダは見つかりましたか？

見つからなかったら、スクロールのためにドラッグした部分をまた上の方にドラッグして、もう一度、探してください。

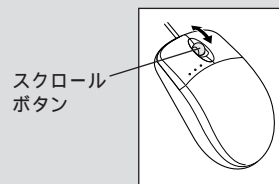
✓チェック!!

「Windows」フォルダは、Windows 98 のシステムが入っている大切なフォルダなので、動かしたりしないでください。

用語

スクロールバー
ウィンドウの端に出るこういう部分を、スクロールバーといいます。ウィンドウの内容が全部表示されていないときに表示されます。上向きボタンをクリックすると上の方を見ることができます。下向きボタンをクリックすると下の方を見ることができます。

スクロールは、マウスのスクロールボタンでも操作できます。



参照

スクロールボタン → 『STEP2 入門』 PART4 の「ペイントで簡単に絵を描く」

Cドライブを閉じる

使い終わったウィンドウは、次のようにして閉じます。それでは、いま開いているウィンドウを閉じてみましょう。

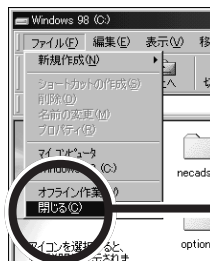
1 ウィンドウ右上の  の右側の  をクリックする



• ウィンドウを閉じるほかの方法

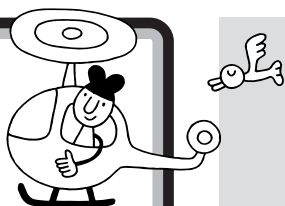
ウィンドウを閉じる方法はほかにもいくつかあります。たとえば、ウィンドウ左上の「ファイル」をクリックし、「閉じる」をクリックしても、ウィンドウを閉じることができます。

1 ウィンドウ左上の「ファイル」をクリックする



2 「閉じる」をクリックする

エクスプローラの 使いかた



マイコンピュータでは、フォルダを次々と開いて、パソコンのディスクの内容を見ることができましたが、エクスプローラでも、また違った見かたをすることが出来ます。

エクスプローラを起動する

エクスプローラとはどんなものか、起動して見てみましょう。

1

「スタート」をクリックし、

2

「プログラム」にマウスを合わせて右側に水平にマウスを動かし、

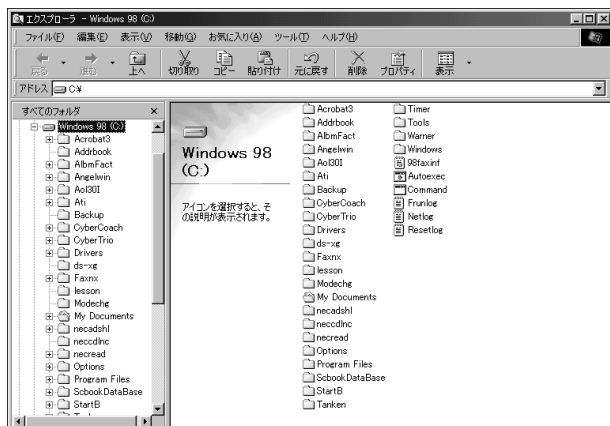
3

表示された一覧の中の「エクスプローラ」まで、マウスを下の方へ動かして、

4

「エクスプローラ」をクリックする

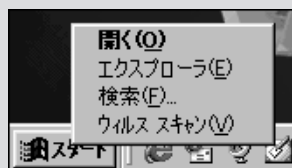
エクスプローラが起動します



一覧の中に「エクスプローラ」がない場合は、一覧のいちばん下の▼までマウスを動かせば、メニューが次々とスクロールして、下の方にある「エクスプローラ」が表示されます。

エクスプローラは、こんな方法でも起動できる

「スタート」を右クリックして、メニューが表示されたら、「エクスプローラ」をクリックします。



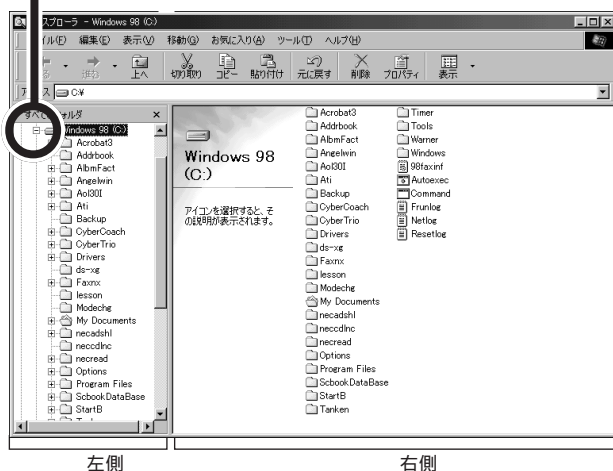
「エクスプローラ」のウィンドウが小さいときは、ウィンドウの右下のすみにマウスを合わせて、Iに変わってからマウスのボタンを押したまま、マウスを右下に動かして、ボタンをはずすと、ウィンドウが大きくなります。

エクスプローラの左側を見る

「エクスプローラ」のウィンドウは、左と右に分かれています。まず、左側を見てみましょう。

1

「Windows 98(C:)」
の左のをクリックすると、



左側

右側

がに変わる



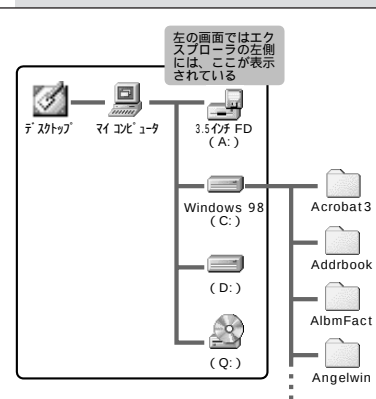
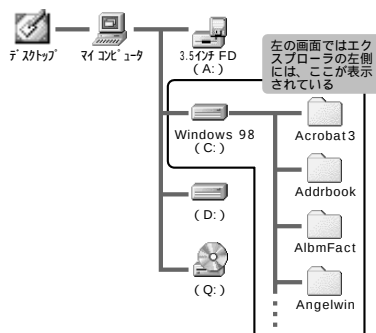
これまで、デスクトップにある「マイコンピュータ」を開いて、さらにその中の「Windows 98 (C:)」を開いて、その中のいろいろなフォルダを見ましたが、このエクスプローラの左側の部分には、いちばん上のデスクトップから順にいったんに表示されます。

チェック!!

右側の欄のファイルやフォルダは開いたり、他のところへドラッグしたりしないでください。

フォルダのアイコンの左側には、やがついています。

のフォルダの中には、まだフォルダがあります。をクリックすると、その中のフォルダが表示されてになります。は、中のフォルダが画面に表示されていることを示しています。をクリックすると、中のフォルダは表示されなくなります。

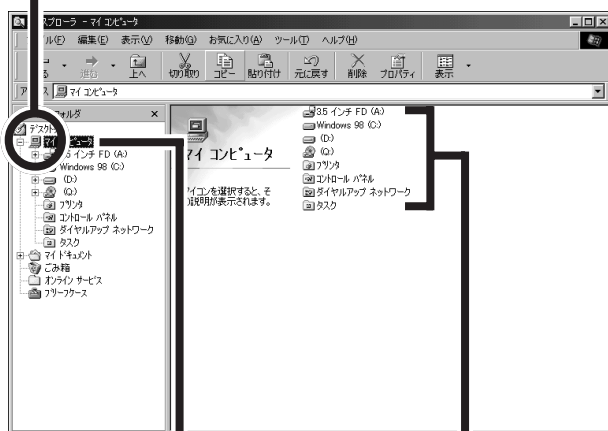


エクスプローラの右側を見る

さて、こんどはエクスプローラの右側を見てみましょう。
左側の「マイコンピュータ」のアイコンをクリックしてみましょう。

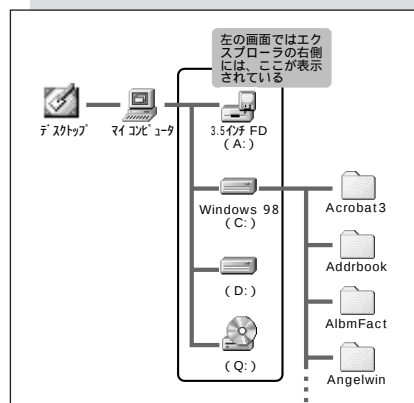
1

 (マイコンピュータ)をクリックする



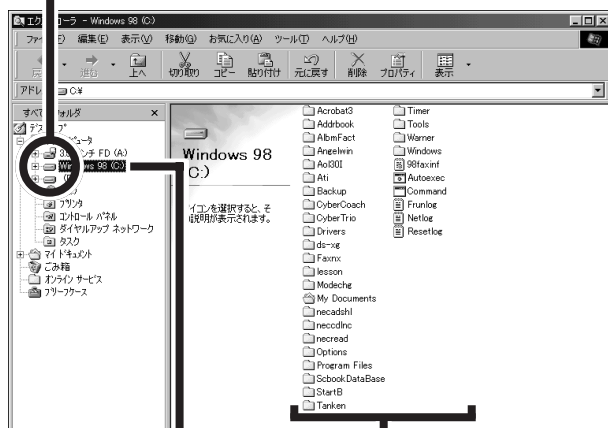
名前の色が変わって、「マイコンピュータ」の中にあるドライブやフォルダが表示される

右側に表示されているのは、「マイコンピュータ」の中にある、AドライブやCドライブやQドライブです。



2

 (Windows 98 (C:))
をクリックする



名前の色が変わって、Cドライブの中にあるフォルダやファイルが表示される

このように左側で選んだアイコンの中身が、右側に表示されるしくみになっています。



このように「マイコンピュータ」を使ったときのようにエクスプローラを使うと、パソコンのディスクの中がどうなっているかを見わたすことができます。

エクスプローラの方が、より広い範囲でファイルやフォルダを見ることができます。

見終わったら、他のウィンドウと同じように、右上の をクリックして閉じてください。

このPARTのまとめ

ここでは、Windows 98 のデスクトップを見てみました。

デスクトップ

デスクトップには、「マイコンピュータ」などのアイコンが並んでいます。いちばん下にあるのがタスクバー。そのいちばん左にある「スタート」からいろいろなソフトを起動することができます。

ドライブとディスク

パソコンでは、情報を記録するために、ハードディスクやフロッピーディスクを使います。このディスクに情報を書いたり、読み取りする装置がドライブ。「A:」「C:」などアルファベットのあとに「:」(コロン)をつけて表します。

アプリケーションを起動する

アプリケーションを起動するときは、まず「スタート」をクリックします。「スタート」の上に表示されるのが「スタートメニュー」。「プログラム」をポイントすると、アプリケーションの一覧が右側に表示されます。右に「▶」がついているものは、そこにマウスを合わせると、次のメニューが表示されます。クリックするとアプリケーションが起動します。



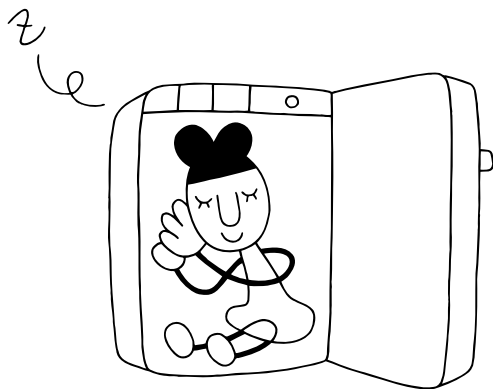
デスクトップにアイコンがあるアプリケーションは、それをダブルクリックすると起動できます。

P A R T

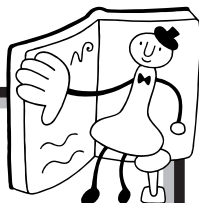
2

ファイルを整理する

こんどは、自分で新しいファイルやフォルダを作ってみましょう。フォルダはファイルを整理するためのものです。まず、新しいフォルダを作って、そこにペイントのファイルを保存します。



ファイルの整理



パソコンを使っていると、ワープロの文書やグラフィックソフトで描いた絵など、いろいろなファイルがどんどんたまっていきます。

そのままにしておくと、せっかく作ったファイルがどこへ行ったか分からなくなってしまうので、ファイルは整理しておきましょう。

ファイルは、作った文書や絵の数だけできます。多く作れば作るほどファイルの整理が必要になってくるわけです。
ファイルはフォルダを使って整理します。

いきなりファイルやフォルダと言ってもわからないので、それらを「文房具」と「引き出し」にたとえてみます。

ペンやハサミ、クリップなどを、全部ひとつの箱に入れておくと探すのがたいへんですし、なにがどこにいくつあるのかもわかりません。増えたファイルをそのままにしておくと、これと同じようになります。



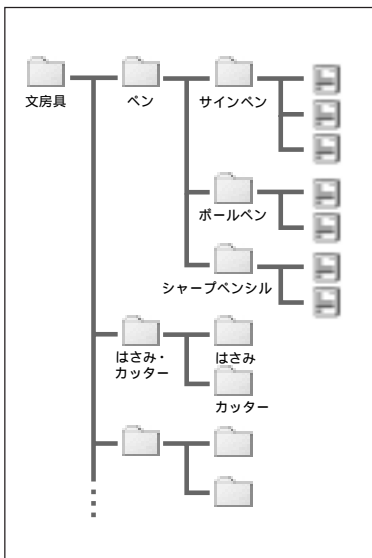
なんでも同じところにいれておくと、
探すのがたいへん

そこで、整理をします。文房具もファイルも考え方は同じです。

文房具は、引き出しや小さな箱などに分類して入れておくと、「ボールペン」がほしいなと思ったとき、すぐみつめることができます。



わかりやすい名前をつけた
引き出しに入れる



パソコンの中では、引き出しや整理箱
のようにフォルダを作って整理する

パソコンで引き出しにあたるのが「フォルダ」です。フォルダを作ってその中にファイルを置くことができます。また、フォルダの中にフォルダを作ることできるので、だんだん細かく分類していけば、たくさんのファイルをわかりやすく整理することができます。

それでは、さっそく、次のページからフォルダの作り方を練習してみましょう。



ポイント

ファイルはフォルダに入れて整理する。
フォルダの中にフォルダを作ることができる。

新しいフォルダを作る



新しいフォルダをふたつ作ってみましょう。
フォルダを作るときは、まず、フォルダを作りたいドライブやフォルダを開きます。

ひとつめのフォルダを作る

それでは、Cドライブの「My Documents」フォルダの中に、新しいフォルダを作ってみましょう。



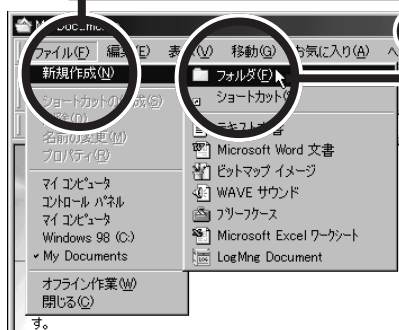
Cドライブの「My Documents」フォルダの内容が表示されます。この中に新しいフォルダを作ります。

4 「ファイル」をクリックする

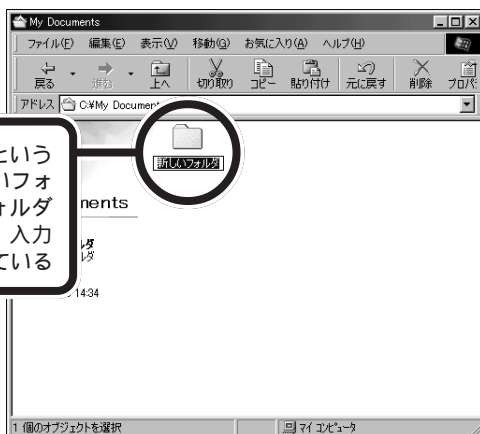


『STEP2 入門』でキーボードやワープロの練習をした方は、ここに『練習1』というファイルが表示されます。(Wordモデルの場合)

5 「新規作成」にマウスを合わせて、



6 「フォルダ」をクリックする



「新しいフォルダ」というフォルダ名の新しいフォルダができる。フォルダ名が四角で囲まれ、入力できる状態になっている

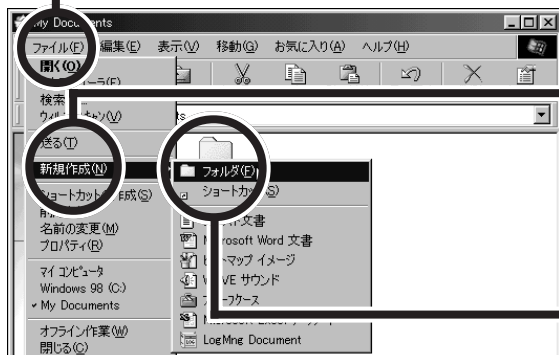
ここでフォルダ名を入力することもできますが、このあとでファイル名やフォルダ名を変える練習をするので、今はこのままにしておいてください。

新しいフォルダができました。続けて、ふたつめのフォルダを作ってみましょう。

ふたつめのフォルダを作る

1

「ファイル」をクリックし、

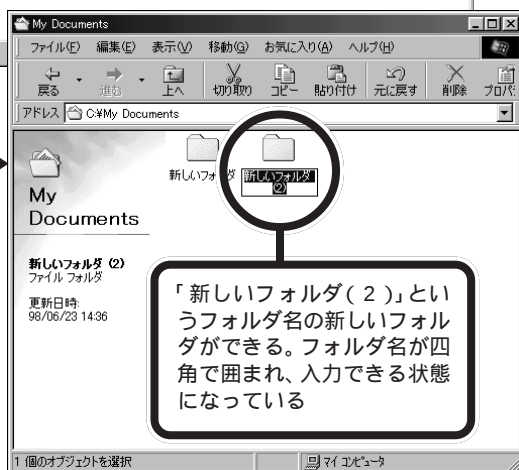


2

「新規作成」にマウスを合わせて、

3

「フォルダ」をクリックする



これでふたつのフォルダができました。次にふたつのフォルダの名前を変えてみましょう。

ファイルやフォルダの 名前を変える

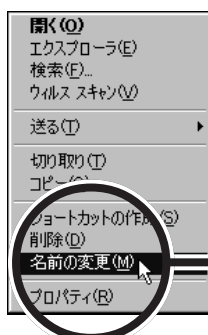
新しく作ったフォルダの名前を、「テスト1」と「テスト2」に変えます。

まず、「新しいフォルダ」から変えてみましょう。



1

「My Documents」のウィンドウの「新しいフォルダ」のアイコンを右クリックする



2

「名前の変更」をクリックする

フォルダ名が四角で囲まれ、入力できる状態になります。



3

画面右下の日本語入力インジケータが になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を1回押して、 にする



4

「テスト1」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する



5

【Enter】を押して名前を確定する

6

同じように、「新しいフォルダ(2)」も、「テスト2」に変える

名前を変えたら、次の操作のために、「My Documents」のウィンドウの右上の をクリックして閉じておきましょう。

✓チェック!!

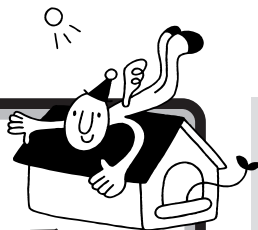
ファイル名、フォルダ名に使えない文字

次の記号を半角でファイル名やフォルダ名に使うことはできません。

¥ / : * ? " < > |

ここでは、フォルダ名について説明しましたが、ファイルも同じようにして名前を変えることができます。

フォルダの中に ファイルを保存する



ペイントを起動して、ファイルを作りましょう。
ペイントで描いた絵は、「練習」というファイル名で保存
します。ここでは、前に作った「My Documents」フォ
ルダの中の「テスト1」に保存しましょう。

ペイントを起動する

ランチ-NXでは、「ユーティリティ」をクリックして、「ペイント」をクリッ
クすると「ペイント」が起動しましたが、Windows 98のデスクトップで
は、このようにして「ペイント」を起動します。

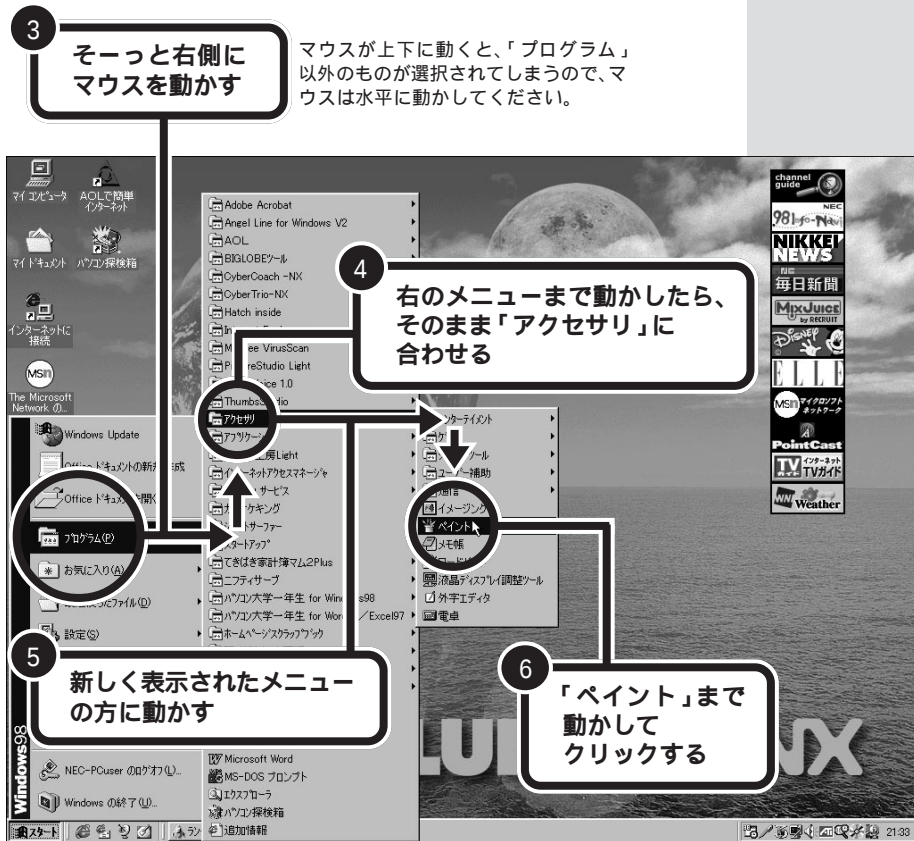
参照

ランチ-NXの使いかた→『STEP2
入門』PART4の「ランチ-NXは、ソ
フトの発射台」

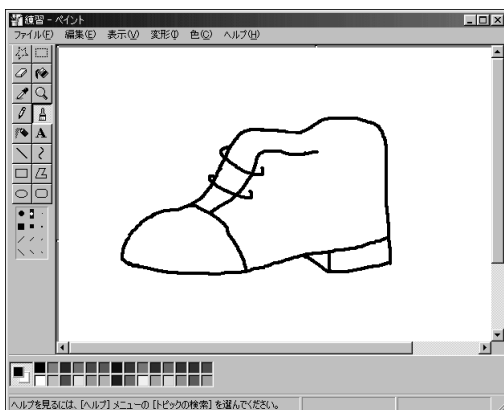
1

「スタート」をクリックし、





ペイントが起動し、絵を描ける状態になります。
練習用なので、なんでもかまいません。『STEP2 入門』でやったことを思い出して、なにか描いてみてください。



ファイルを保存する

1

「ファイル」を
クリックして、



2

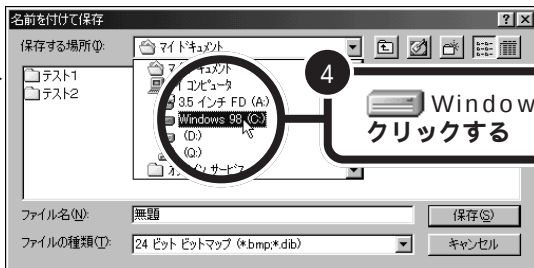
「名前を付けて保存」
をクリックする

3

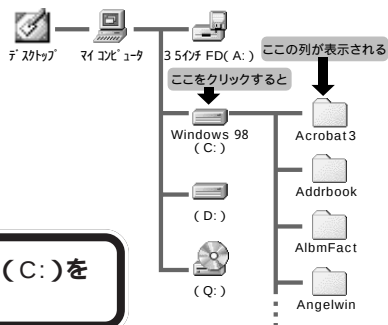
をクリックして、



「My Documents」と「マイドキュメント」は同じフォルダを指しますが、ここでは手順のとおりに進めてください。



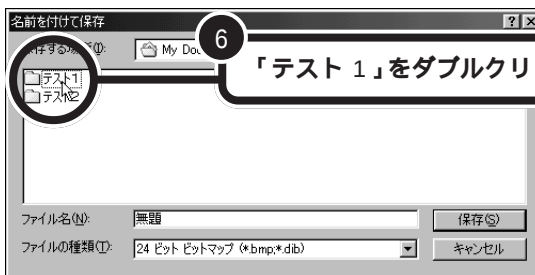
Windows 98 (C:) を
クリックする



「保存する場所」の欄に表示されているドライブやフォルダの内容が表示される



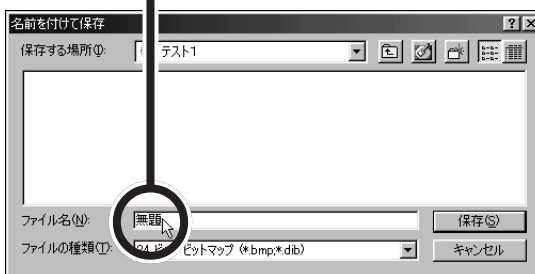
5
「My Documents」をダブルクリックする



6
「テスト 1」をダブルクリックする

「保存する場所」の欄に「テスト 1」と表示されます。

7
「ファイル名」の右の入力欄をクリックして、



「ファイル名」に何かファイル名が表示されているときは、そのいちばん後ろの空いているところをクリックし、キーボードの【Back Space】を押して、消してください。

8
画面右下の日本語入力インジケータが  になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押して、 にする



9 「練習」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定し、

10 「保存」をクリックする

これで、いま描いた絵が「練習」というファイル名で、「My Documents」の「テスト1」の中に保存されました。

ペイントを終わる

ペイントを終了しましょう。

1  の  をクリックする



この PARTの まとめ

ここでは、ファイルやフォルダについて見てみました。

新しいフォルダを作る

ファイルはフォルダに入れて整理します。「ファイル」メニューの「新規作成」で「フォルダ」を選ぶと、新しいフォルダが作られます。

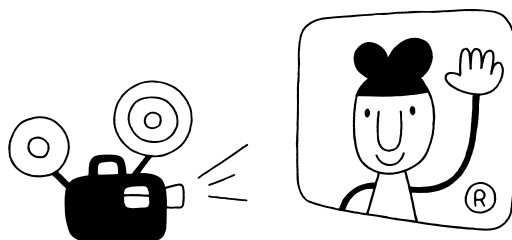
ファイルやフォルダの名前

ファイルやフォルダには、整理しやすい名前をつけておきましょう。名前を変えたいときは、そのファイルやフォルダを右クリックして、「名前の変更」を選びます。

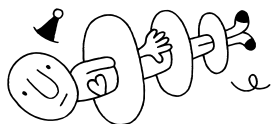
3

ファイルの移動やコピー

ファイルやフォルダの移動やコピー、削除のしかたを覚えましょう。これらの操作は、おちついて、ゆっくり、慎重にやってください。もし、まちがっても、あせりは禁物です。おちついて対処すれば、元にもどせることもあります。



ファイルを移動する



PART2で作ったファイルを別のフォルダに移してみましょう。

まず、「テスト1」フォルダの中の「練習」を「テスト2」フォルダにドラッグ&ドロップしてみましょう。「練習」は「テスト2」に移動します。

テスト1のフォルダを開く

デスクトップの「マイドキュメント」(📁)をダブルクリックしても、Cドライブの「My Documents」フォルダを開くことができます。

1

(マイドキュメント)をダブルクリックする



用語

ドラッグ&ドロップ

アイコンを移動したい場所までドラッグしていき、そこでマウスのボタンを離すまでの作業を、ドラッグ&ドロップと呼びます。

チェック!!

フォルダのアイコン(📁)からわかるように、Cドライブにある「My Documents」フォルダとデスクトップにある「マイドキュメント」は同じフォルダです。

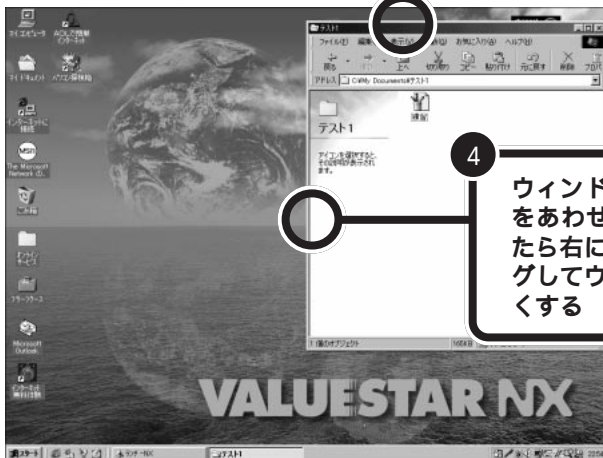
「マイ ドキュメント」(My Documents)の内容が表示されます。



2 「テスト1」のアイコンをダブルクリックする

「テスト1」の内容が表示されます。「テスト1」には「練習」が入っています。
ウィンドウを画面の右はしに寄せて、画面の半分くらいになるように小さくしてください。

3 タイトルの部分でマウスの左ボタンを押したまま、右の方へ移動し、ウィンドウを右に寄せる



4 ウィンドウの左はしにマウスのカーソルをあわせて↔に変わったら右に向かってドラッグしてウィンドウを小さくする



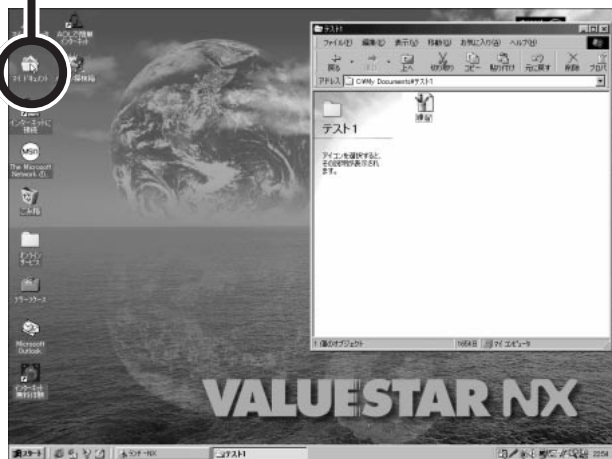
ポイント デスクトップの「マイ ドキュメント」で、Cドライブの「My Documents」フォルダを開くことができる。

テスト 2 のフォルダを開く

移動先の「テスト 2」を開きます。

1

「マイ ドキュメント」をダブル
クリックする



「マイ ドキュメント」(My Documents) の内容が表示されます。

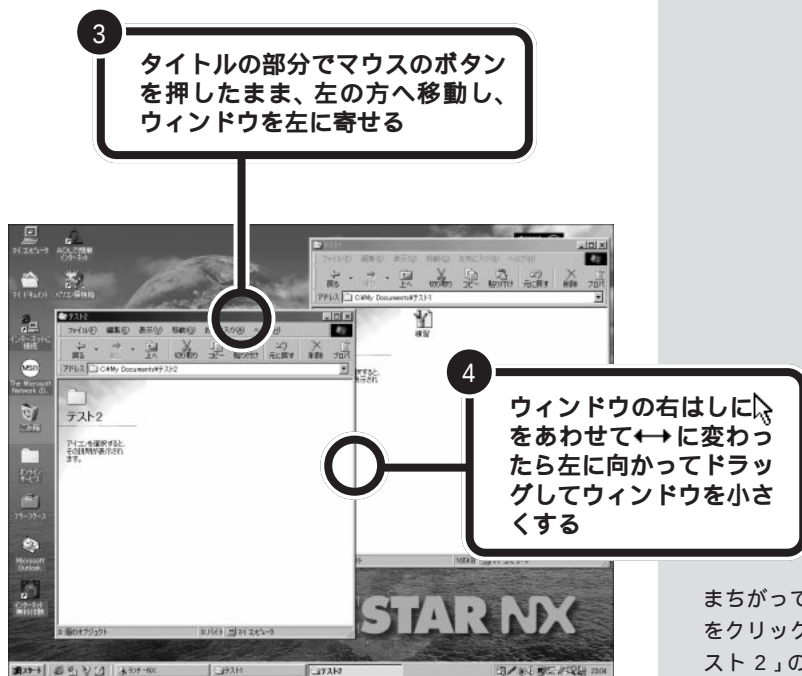


「テスト 2」のアイコンを
ダブルクリックする

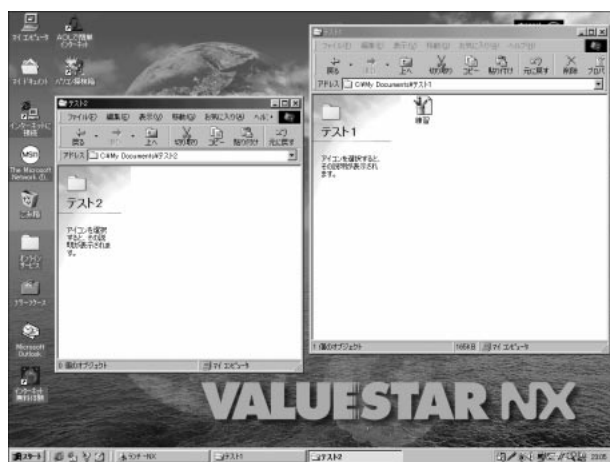
「マイ ドキュメント」のウィンドウで、「テスト 1」のウィンドウが隠れてしまうかもしれませんが、そのまま操作を進めてください。

「テスト2」の内容が表示されます。といっても、「テスト2」にはなににも入っていないので中は空です。

「テスト1」のウィンドウと重ならないように、ウィンドウを小さくしてください。



さあ、ウィンドウはふたつきれいにならびましたか？
 両方のウィンドウが全部見えていれば準備完了です。



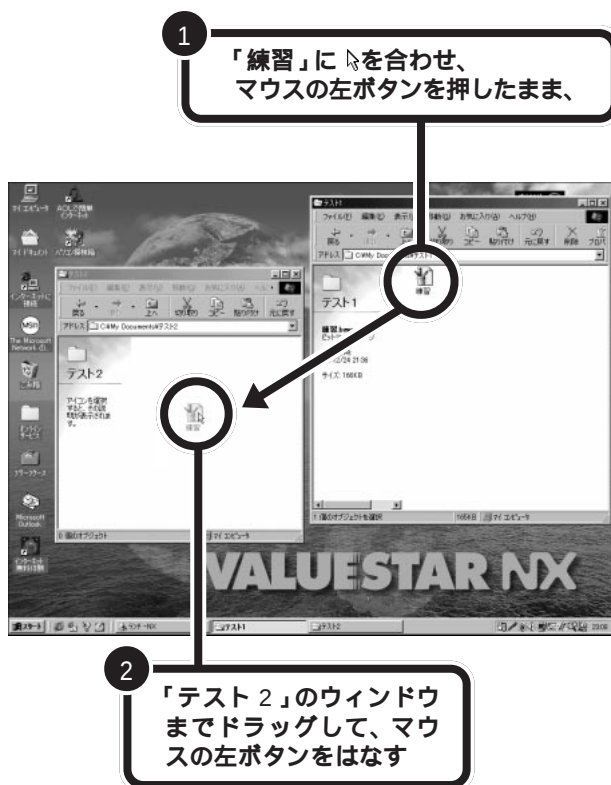
さっそく、ファイルを移動してみましょう。

まちがって「テスト1」のウィンドウをクリックしてしまった場合は、「テスト2」のウィンドウのどこかをクリックして手前に表示させてください。

参照

ウィンドウが重なってしまったとき
 →このPARTの「ウィンドウが重なって、みえないとき」(p.37)

ファイルを移動する



まちがって「練習」をダブルクリックし、ペイントが起動してしまったときは、ウィンドウ右上の[×]をクリックして、ペイントを閉じてください。

この操作を「ドラッグ&ドロップ」といいます。

このときアイコンはという形になります。

フォルダも、ファイルと同じように移動できます。フォルダを移動すると、その中のファイルやフォルダも、そっくりそのまま移動します。

「テスト2」に「練習」が移動しましたか？

「テスト1」にあった「練習」がなくなって、「テスト2」には「練習」があります。これが「移動」です。



ポイント

ファイルを、同じドライブのフォルダにドラッグ&ドロップすると、ファイルは移動する。

●ウィンドウが重なって、見えないとき

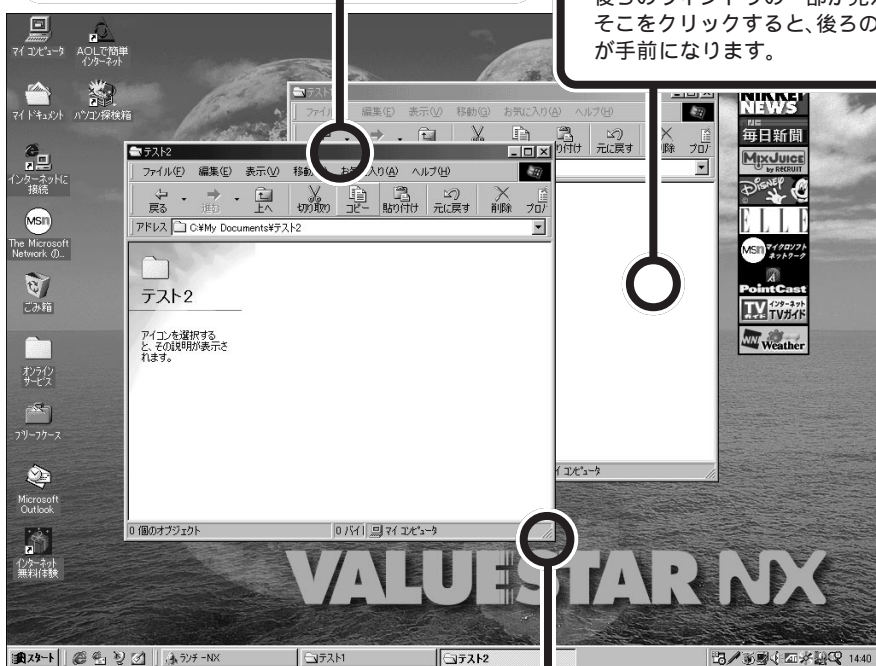
ウィンドウをたくさん開くと、重なって、後ろのウィンドウが見えなくなってしまう。こういうときは、ウィンドウを動かしたり、大きさを变えて、必要な部分が見えるようにします。

ウィンドウを動かす

ウィンドウの上のタイトル部分(青い部分)にマウスを合わせて、ドラッグすると、ウィンドウの位置を変えることができます。

ウィンドウを手前にする

後ろのウィンドウの一部が見えていれば、そこをクリックすると、後ろのウィンドウが手前になります。



ウィンドウの大きさを変える

ウィンドウの右下にマウスを合わせると、マウスの形が↖に変わります。そのまま右下にドラッグするとウィンドウを大きく、左上にドラッグするとウィンドウを小さくすることができます。



ポイント

ウィンドウが重なって見えないときは...

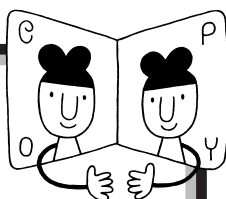
1. ウィンドウを動かす
タイトル部分をドラッグする。
2. ウィンドウの大きさを変える
ウィンドウの上下左右の角や辺にマウスを合わせ、矢印の方向にドラッグする。
3. ウィンドウを手前にする
見えないウィンドウの一部をクリックして手前に出す。

参照

タスクバーを使ってウィンドウの重なり方を変える→『STEP2 入門』PART4の「複数のウィンドウを扱う」

ウィンドウの大きさを変えるにはウィンドウの右下だけでなく、ウィンドウの四隅の角にマウスを合わせると、↖や↗に形が変わります。そこからウィンドウの内側や外側にドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。
また、ウィンドウの辺の部分では、マウスが↔や↕に変わります。ここからドラッグすると、ウィンドウの左右や上下の長さだけを変えることができます。

ファイルをコピーする



ファイルやフォルダの複製を作るときは【Ctrl】を押したまま、アイコンをドラッグ&ドロップします。
ドラッグ&ドロップした先のフォルダには元のフォルダにあったものと同じファイルができます。

こんどは、「テスト2」に移動した「練習」を「テスト1」にコピーしてみましょう。

1

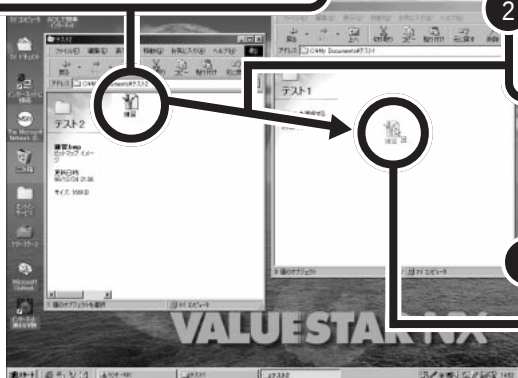
「練習」にマウスを合わせ、マウスの左ボタンを押したまま、

2

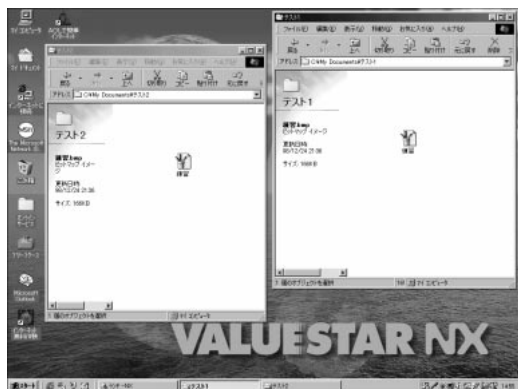
「テスト1」のウィンドウまでドラッグして、

3

【Ctrl】を押して、押したまま、マウスの左ボタンをはなす
【Ctrl】を押すとマウスに $+$ マークがつく



コピーしても、元のファイル(「テスト2」の中の「練習」)はそのまま残っています。



フォルダも、ファイルと同じようにコピーできます。フォルダをコピーすると、その中のファイルやフォルダも、そっくりそのままコピーされます。

コピーと移動の違いはわかりましたか？

次のページでもう一度整理しますので、その前に、いま開いているウィンドウの右上の $\times$ をクリックして、全部閉じてください。

他のドライブにファイルを移動する

マイコンピュータのウィンドウで(D:)をダブルクリックしてDドライブのウィンドウを開き、Dドライブにも新しいフォルダを作って、ファイルをドラッグ&ドロップしてみてください。

【Ctrl】を押していなくても、にがついて、ファイルは「移動」ではなく「コピー」されます。

違うドライブにドラッグ&ドロップすると、「移動」ではなく自動的に「コピー」されるのです。

• 違うドライブに「移動」したいとき

それでは、違うドライブに「移動」したいときは、どうしたらいいのでしょうか？ このようなときは、キーボードの【Shift】を使います。

【Shift】を押したままドラッグ&ドロップすると、行き先がどこであっても「移動」されます。

フロッピーディスクの場合

フロッピーディスクはAドライブです。マイコンピュータのウィンドウには、「3.5インチFD(A:)」というアイコンで表示されています。

パソコンの中(Cドライブ、Dドライブなど)からフロッピーディスク(Aドライブ)に、逆に、フロッピーディスクからCドライブやDドライブの中に、ファイルやフォルダをドラッグ&ドロップすると、コピーされます。

参照

フロッピーディスクを使うには→
「PART4 フロッピーディスクを使う」(p.51)

コピーと移動の使い分け

なんだかややこしいようですが、移動、コピーするときは、に注目してください。ドラッグして、目的のフォルダの上に持っていったとき(まだドロップはしないで!)、コピーされるときは、にが表示されます。移動されるときは、そのままです。そのままの状態です【Shift】や【Ctrl】を押すと、が変わるので、目的に応じたキーを押したままドロップすれば、移動、コピーを自由に使い分けることができます。



移動のときのマウスポインタ



コピーのときのマウスポインタ



違うドライブにドラッグ&ドロップするとコピーされ、同じドライブだと移動される。

【Shift】を押したままドラッグ&ドロップすると移動され、【Ctrl】だとコピーされる。

がになったとき

アプリケーションなどのプログラムのファイルをデスクトップに移動しようとするとき、になります。このときは、移動先に「ショートカット」のアイコンができます。「ショートカット」のアイコンには、がつきます。同じようにして何度でも作ることができるので、削除してもかまいません。

参照

ショートカットについて→このPARTの「ショートカットを作ろう」(p.45)
ショートカットを削除するには→このPARTの「ファイルを削除する」(p.42)

ファイルのコピーと移動の応用テクニック

パソコンを使いこなして、ファイルやフォルダが増えてくると、次のような応用テクニックも役に立ちます。

ここでは、読むだけで、練習はしませんが、おぼえておくくと便利です。

●複数のファイルやフォルダを選んで、一度にコピー、移動する

同じウィンドウの中のファイルやフォルダは、一度にまとめてコピー、移動することができます。

コピー元のフォルダを開いたら、次のようにして、複数のファイルやフォルダを選んでください。選んだ状態でドラッグ&ドロップすると、選択されているファイルやフォルダは一度にコピーや移動ができます。

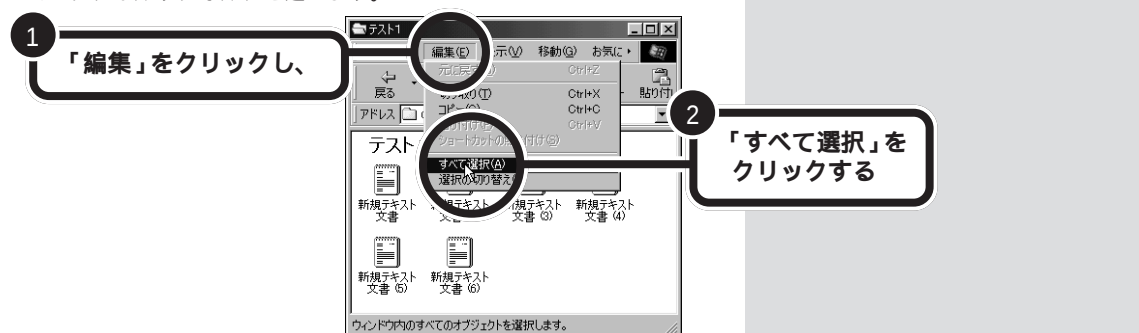
ウィンドウの中でマウスをドラッグすると、四角で囲まれた範囲の中のファイルやフォルダがすべて選択されます。



キーボードの【Ctrl】を押したままアイコンをクリックすると、続けて他のファイルやフォルダを選べます。



「編集」をクリックし、「すべて選択」をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのファイルやフォルダを選べます。



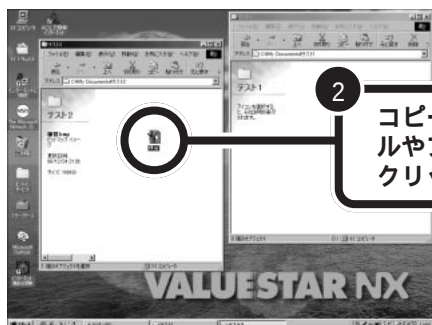
【Shift】を押したままアイコンをクリックすると、前に選んだアイコンとの間にあるアイコンがすべて選択されます。

●ドラッグ&ドロップ以外のコピー、移動のしかた

ドラッグ&ドロップ以外にも、次のようにして、ファイルやフォルダをコピー、移動することができます。

1

コピー元(移動元)とコピー先(移動先)のフォルダを開きウィンドウを表示する



2

コピー(移動)したいファイルやフォルダのアイコンをクリックする



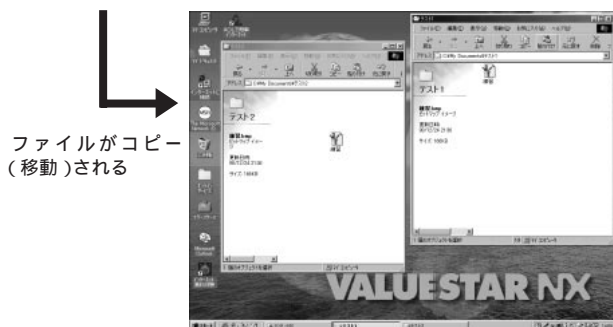
3

「コピー」(移動するときは「切り取り」)をクリックする



4

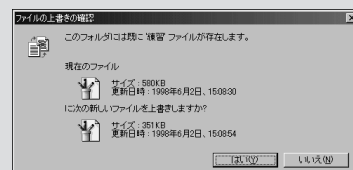
コピー先(移動先)のウィンドウで「貼り付け」をクリックする



ファイルがコピー
(移動)される

✓チェック!!

同じフォルダの中に同じ名前のフォルダやファイルを入れておくことはできません。移動先やコピー先に同じ名前のファイルやフォルダがあるときは、「ファイルの上書きの確認」というウィンドウが表示されます。「上書き」というのは、そこに元からあったものを消して、新しく移動したりコピーするファイルやフォルダと入れ換えることです。元からそこにあったファイルやフォルダを消したくないときは「いいえ」をクリックしてください。このとき、ファイルはコピーまたは移動されません。



ファイルを削除する



いらないファイルやフォルダは、「ごみ箱」に捨てて、削除します。

「テスト1」にコピーした「練習」を削除してみましょう。

いらないファイルはごみ箱へ

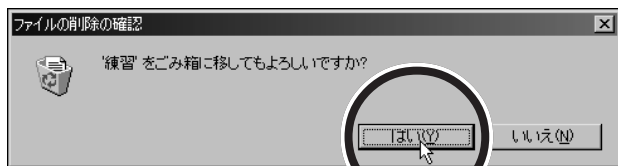
まず、「テスト1」のフォルダを開いてから、次のように操作します。



空っぽの「ごみ箱」



ごみが入っている「ごみ箱」



3 「はい」をクリックする

「練習」が「ごみ箱」の中に移動します。



ポイント

いらないファイルやフォルダは、「ごみ箱」に入れて削除する。

✓チェック!!

フロッピーディスクの中のファイルやフォルダは、「ごみ箱」にドラッグ&ドロップすると完全に削除されます(「ごみ箱」には移動されません)。ほんとうに削除してもいいか考えて、削除していいときは、左の画面で「はい」をクリックしてください。

ごみ箱の中のファイルを元に戻す

まちがって大切なファイルなどを削除しないように、「ごみ箱」に入れただけでは、ファイルはまだ完全には削除されないようになっています。「ごみ箱」の中のファイルは、次のように、元の場所に戻すことができます。

1

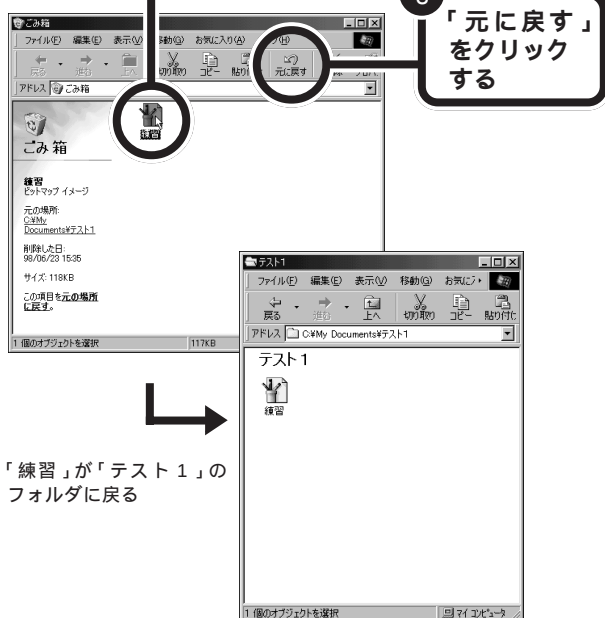
「ごみ箱」をダブルクリックする



「ごみ箱」の中身が表示される

2

「練習」をクリックする



「練習」が「テスト1」のフォルダに戻る

3

「元に戻す」をクリックする

✓チェック!!

フロッピーディスクの中のファイルやフォルダは、「ごみ箱」にドラッグ＆ドロップすると完全に削除されてしまうので、元に戻すことはできません。

✓チェック!!

「ごみ箱」の中のファイルは、一定の量になると古いものから削除されます。削除されたものは元に戻すことはできません。

✓チェック!!

「ごみ箱」のプロパティのオプションで「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」が ☒ (有効) になっている場合は、ファイルやフォルダをごみ箱に入れたとき、「ファイルの削除の確認」画面で「はい」をクリックしてファイルを削除すると、元に戻すことはできなくなります。



ごみ箱の中のファイルを完全に削除する

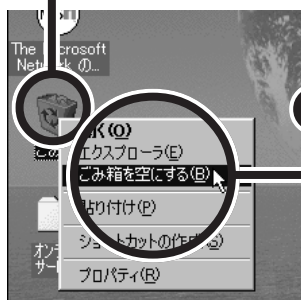
「ごみ箱」に入れたファイルは、そのままでは削除されないで、どんどんファイルを作ったり、アプリケーションをインストールすると、ハードディスクがいっぱいになってしまいます。いっぱいになったハードディスクには、ファイルを保存したりコピーすることができません。

ここでは、「ごみ箱」の中のものを完全に削除する練習をします。この操作を行うと、もう元には戻せないで注意してください。

もう一度、「テスト 1」フォルダから「ごみ箱」に「練習」をドラッグ＆ドロップしてから、次のように操作してください。

1

「ごみ箱」を右クリックし、

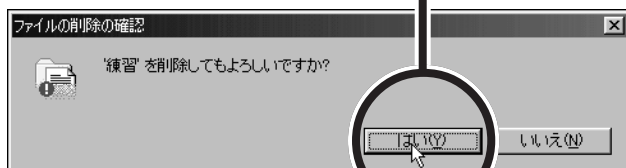


2

「ごみ箱を空にする」をクリックする

3

「はい」をクリックする



ポイント

ハードディスクがいっぱいにならないように、「ごみ箱」を空にする。

参照

ハードディスクの容量がいっぱいになったら→『困ったときの Q & A』PART1 の「ハードディスクを使っていたら」

ショートカットを作ろう



よく使うアプリケーションやファイルは、デスクトップにショートカットを作っておくと便利です。ここでは、「ペイント」のショートカットを作ります。ペイントは「Mspaint」というファイル名でハードディスクの中に入っています。

1

 (マイコンピュータ)をダブルクリックする



2

 (Windows 98 (C:))をダブルクリックする



用語

ショートカット

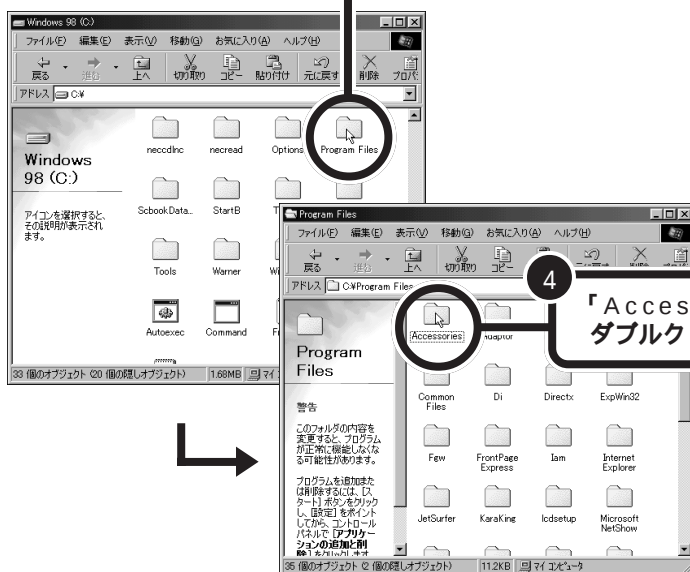
ショートカットは、よく使うアプリケーションなどをすぐ使えるように、デスクトップに出しておくためのものです。

ショートカットのアイコンをダブルクリックすると、元のアイコンをダブルクリックしたのと同じように、アプリケーションが起動します。

もし、まちがってショートカットを削除しても、元のアプリケーションには何の影響もありませんし、ショートカットは、何度でも作ることができます。

3

「Program Files」をダブルクリックする

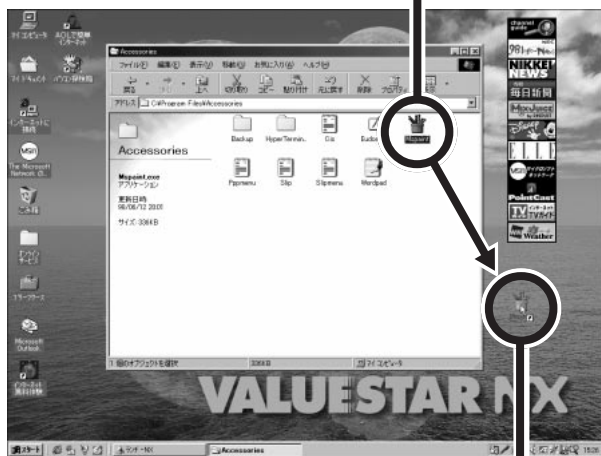


4

「Accessories」をダブルクリックする

5

「Mspaint」を、



6

デスクトップのなにもないところにドラッグ&ドロップする

ドラッグ&ドロップするとき、マウスポインタに  がついて、 になる

デスクトップにペイントのショートカット  (Mspaint へのショートカット) ができます。このショートカットをダブルクリックすると「ペイント」が起動します。

ショートカットを作ったら、次の操作のために、開いたウィンドウの右上の  をクリックして閉じておきましょう。

「Program Files」や「Mspaint」はウィンドウの下の方にかくれていることがあります。スクロールして探してください。

アプリケーションではなく、自分で作成したファイルやフォルダのショートカットを作成するとき
ファイルやフォルダを、ショートカットを作りたいところにマウスの右ボタンでドラッグ&ドロップして、メニューが表示されたら「ショートカットをここに作成(S)」をクリックします。

ここに移動(M)

ここにコピー(C)

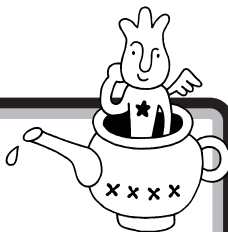
ショートカットをここに作成(S)

キャンセル

ショートカットのアイコンには  がついているので、他のアイコンと見分けがつきます。

デスクトップのアイコンをよく見ると、ショートカットがすでにいくつかあるのがわかります。

ファイルを探す



ファイルをまちがって他の場所に移動したりして、ファイルがどこにいったか、わからなくなることがあります。こんなときは、わからなくなったファイルを検索して探しましょう。

ここでは、例として「練習」を検索してみましょう。

ファイルを検索する

1

「スタート」をクリックし、

2

「検索」をポイントして、

3

「ファイルやフォルダ」をクリックする

4

画面右下の日本語入力インジケータが  になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押して  にする

5

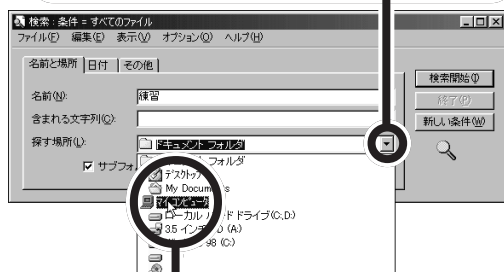
「名前」の入力欄に「練習」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する



入力する文字は、探しているファイルの名前を全部入力しなくても、一部分を入力すればOKです。たとえば、「練」だけでも構いません。入力した文字を名前に含んでいるファイルやフォルダが全部検索されます。

6

すべてのドライブを検索するので、「探す場所」の右の▼をクリックして、

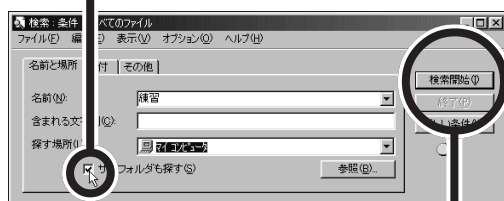


7

「マイコンピュータ」をクリックする

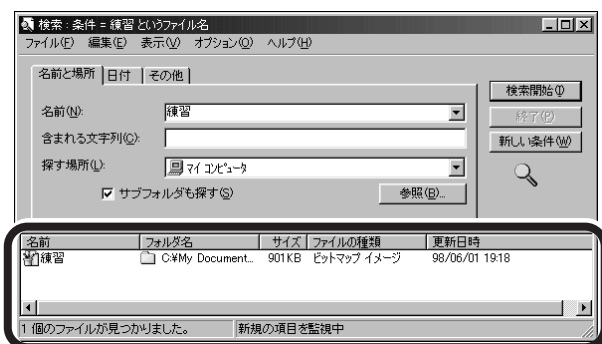
8

「サブフォルダも探す」が□になっているときは、クリックして☑にする



9

「検索開始」をクリックする



検索結果が一覧表示される



ポイント

ファイルがどこにあるかわからなくなったら、検索してみる。検索する場所や名前を変えて検索できる。

「探す場所」を「マイコンピュータ」にすると、すべてのドライブが検索の対象になります。



サブフォルダ

フォルダの中にあるフォルダをサブフォルダといいます。

□ は、その項目が無効になっていることを示します。

☑ は、有効になっていることを示します。

検索結果の見かた



名前

検索されたファイル名、フォルダ名が表示されます。ここをダブルクリックすると、検索されたファイルが開きます。

フォルダ名

検索されたファイルやフォルダが入っているフォルダの名前が表示されます。

更新日時

検索されたファイルを最後に変更した日時が表示されます。

ファイルの種類

検索されたファイルの種類が表示されます。フォルダのときは、「ファイル フォルダ」と表示されます。

サイズ

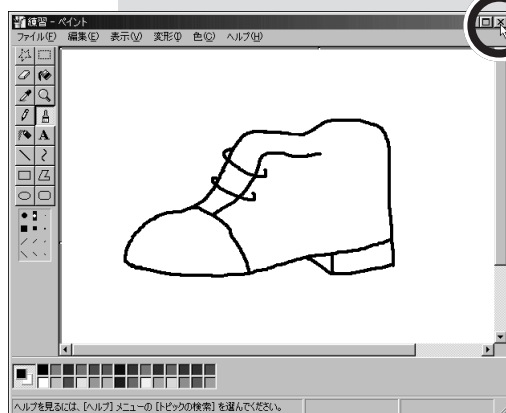
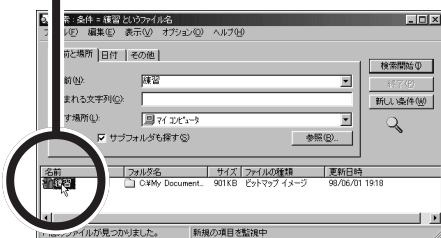
検索されたファイルの大きさが表示されます。

2

✕ をクリックする

1

「練習」をダブルクリックする



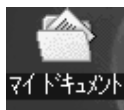
「ペイント」が起動して、「テスト2」に入っていた「練習」が開きます。開いたことが確認できたら ✕ をクリックして、「ペイント」や「検索」を終わらせてください。

この PARTの まとめ

ここでは、ファイルのコピーや移動のしかたを練習しました。

マイ ドキュメントの使い方

デスクトップの「マイ ドキュメント」をダブルクリックすると、Cドライブにある「My Documents」フォルダを開くことができます。「マイ ドキュメント」と「My Documents」は同じフォルダです。このフォルダに自分で作った文書や絵を入れておく便利です。



ファイルのコピーと移動

ファイルのアイコンを、同じドライブのフォルダにドラッグ&ドロップすると、ファイルは移動します。

【Ctrl】を押したまま、ドラッグ&ドロップすると、ファイルはコピーされます。移動と違って、ファイルは2つになります。

いらないファイルはごみ箱に捨てる

いらなくなったファイルやフォルダはごみ箱に捨てます。まちがって捨てたときは、元に戻せます。ただし、設定されている量を超えると、古いものから順に完全に削除されて元に戻せなくなります。

ショートカット

よく使うアプリケーションやファイルは、ショートカットのアイコンをデスクトップ上に置いておく便利です。

ファイルを探す

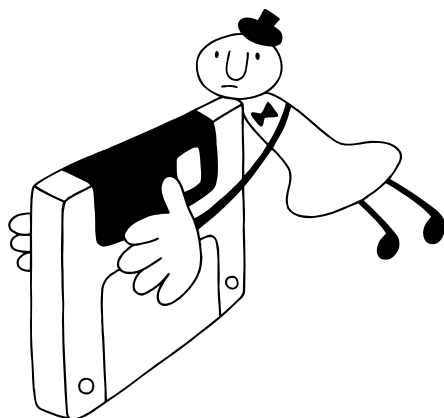
ファイルがどこにあるかわからなくなったときは、「スタート」メニューの「検索」を使って探すことができます。

P A R T

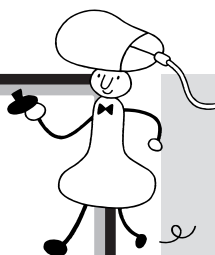
4

フロッピーディスクを使う

ここでは、ファイルをフロッピーディスクに入れる方法を説明します。また、友人などからフロッピーディスクでファイルもらったときの使いかたも説明します。



フロッピーディスク を買ってくる



フロッピーディスクにも、いろいろな種類があります。
まず、買うときの目安について説明します。

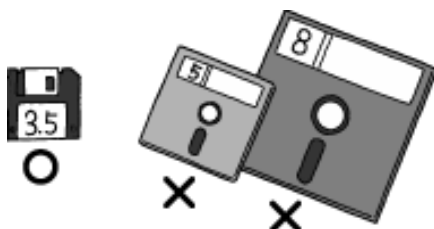
フロッピーディスクの種類

フロッピーディスクを買うときには、「大きさ」「容量」「フォーマット」という3つのポイントを確認します。

• 大きさ

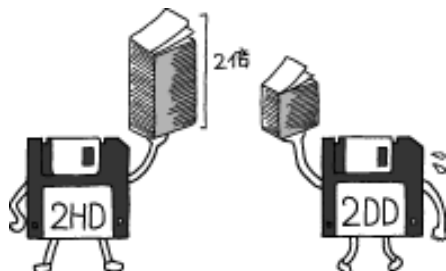
フロッピーディスクは、その中に入っている円盤(磁気を帯びた円盤)の大きさによって、3.5インチ、5インチ(5.25インチ)、8インチの3つがあります。ただし、今は3.5インチが主流で、5インチ、8インチのフロッピーディスクはあまり使われていません。

このパソコンで使えるのは、3.5インチのフロッピーディスクだけです。



• 容量

3.5インチのフロッピーディスクには、「2HD」と「2DD」という2種類のタイプがあります。この2つには、その中に入れることのできる情報量(容量)に差があります。「2HD」タイプのフロッピーディスクには、「2DD」タイプのフロッピーディスクの約2倍の情報を入れることができます。このパソコンでは両方のタイプのフロッピーディスクを使うことができます。それほど価格も変わらないので、「2HD」タイプをお使いになることをおすすめします。



「2HD」は「両面高密度倍トラック」の英訳の頭文字をとったもの、「2DD」は「両面倍密度倍トラック」の英訳の頭文字をとったものです。以前は「2D」などといったさらに容量が小さいものもありましたが、現在はほとんど使われていません。また、このパソコンでは使えません。

✓チェック!!

2DDには、容量が720KB(キロバイト)のものと640KBのものがあります。640KBのものはこのパソコンでは使えません。

2HDには容量が1.44MBのものと1.25MBのものがあります。このパソコンでは、1.25MBのものを読み書きすることはできますが、1.25MBでフォーマットすることはできません。

● フォーマット

「フォーマット」とは、「フロッピーディスクを使えるようにする」作業のことです。

従来は市販のフロッピーディスク(未フォーマット)を買ってくると、最初に必ずこのフォーマット作業が必要でしたが、最近では「フォーマット済みのフロッピーディスク」が売られているので、こちらの方が便利です。ただし、この「フォーマット済みのフロッピーディスク」にもいくつかの種類があります。未フォーマットのフロッピーディスクを含めて整理すると、次のように分類されます。

- ・未フォーマットのフロッピーディスク
- ・Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスク
- ・PC-98 用フォーマット済みのフロッピーディスク
- ・Macintosh 用フォーマット済みのフロッピーディスク

用語

フォーマット

フロッピーディスクやハードディスクなどをパソコンで使える状態にする作業。フォーマットされていないディスクには、なにも保存できません。「初期化」ともいいます。

結局どんなフロッピーディスクを買えばいいの？

「3.5インチ2HDタイプ Windowsフォーマット済みフロッピーディスク」か「3.5インチ2HDタイプ DOS/Vフォーマット済みフロッピーディスク」であれば、フロッピーディスクドライブに入れて、すぐに使うことができます。



フォーマットすると使えます

すぐに使えます

すぐに使えます

フォーマットすると使えます

Windows フォーマットと DOS/V フォーマットは、呼び名が異なるだけで、実際には同じフォーマットです。

Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスクと PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスクは容量(ディスクの中に保存できる情報量)が異なります。前者の容量は 1.44MB (メガバイト)、後者の容量は 1.25MB です。また、一般に DOS/V マシンと呼ばれるパソコンには、PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスクを扱えないものがあります。

「未フォーマットのフロッピーディスク」や「Macintosh 用フォーマット済みのフロッピーディスク」でも、あらためて「フォーマット」をすれば使えます。しかし、その分だけ手間と時間(2分ぐらい)がかかります。



ポイント

フロッピーディスクは、「3.5インチ2HDタイプ Windowsフォーマット済みフロッピーディスク」または、「3.5インチ2HDタイプ DOS/Vフォーマット済みフロッピーディスク」がおすすめ。

取扱注意!フロッピーディスク

●磁石に注意

フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。特に注意していただきたいのは磁石です。フロッピーディスクは、磁力で情報を記録しているので、磁石を近づけると、簡単に内容が消えてしまいます。

磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。また、ホワイトボードの磁石なども要注意です。

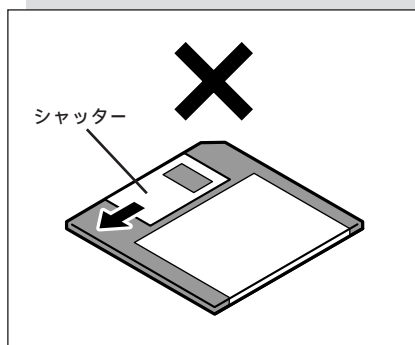
●その他の注意

- ・シャッターを開けない。
- ・ラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしない。
- ・ラベルは正しい位置に貼る。
- ・飲食、喫煙しながら使わない。
- ・溶剤類、飲み物などを近づけない。
- ・ゴミやホコリが多いところでは使わない。
- ・汚れたフロッピーディスクは使わない。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしない。
- ・使わないときは収納箱に入れて保管する。
- ・上にものを載せない。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かない。

フロッピーディスクの取り扱いに関する一般的な注意については、フロッピーディスクのケースに入っている説明書をご覧ください。

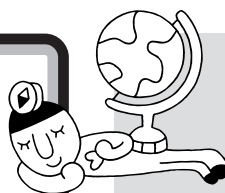
📖 参照

フロッピーディスクの扱いかたー『リファレンス』PART2の「フロッピーディスク」



フロッピーディスクを使う

用意したフロッピーディスクを本体にセットします。



✓チェック!!

フロッピーディスクは、パソコンの電源を入れて Windows 98 が起動したあとでセットしてください。

フロッピーディスクを用意する

ここから実際にフロッピーディスクを使った作業を体験してみましょう。新しい「3.5 インチ 2HD タイプのフロッピーディスク」を 1 枚用意してください。

用意するフロッピーディスクは、「未フォーマットのフロッピーディスク」または、「Windows フォーマット済みフロッピーディスク」「DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」「PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスク」のどれでもかまいません。

✓チェック!!

このパソコンに添付されているフロッピーディスクは練習には使わないでください。

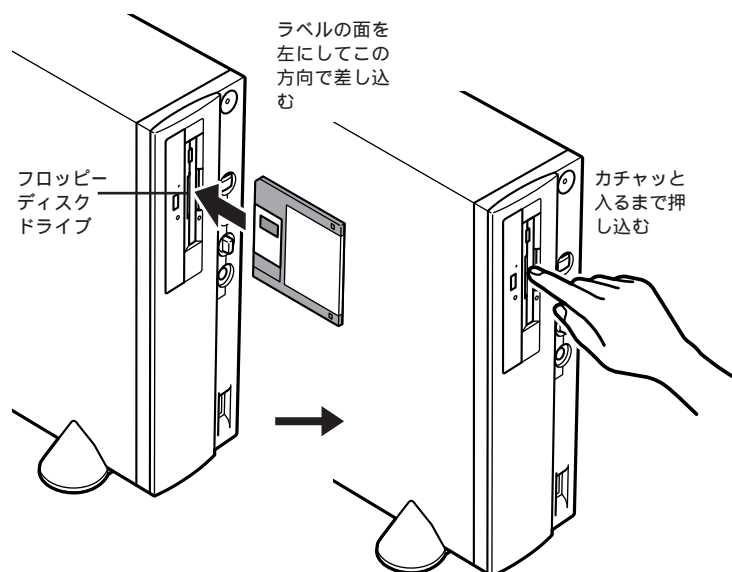
フロッピーディスクを入れる

用意したフロッピーディスクを、次の図のように本体のフロッピーディスクドライブに差し込みます。

• コンパクトタイプの場合

1

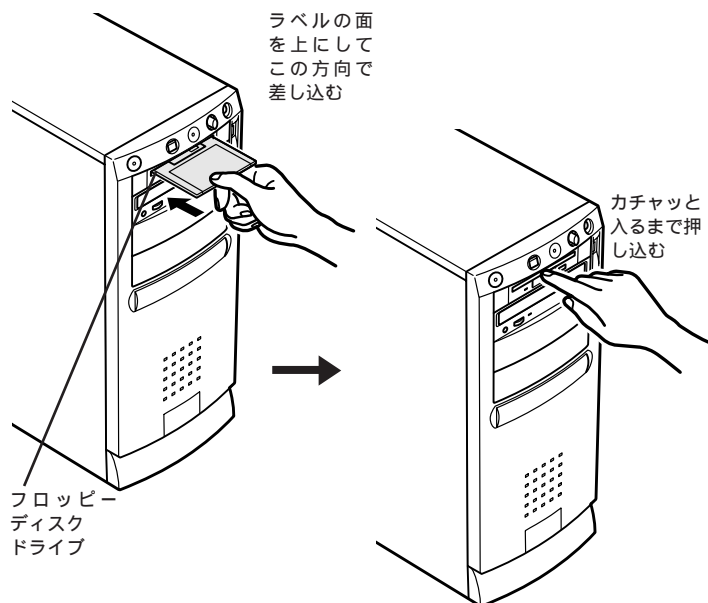
フロッピーディスクドライブに「フロッピーディスク」を入れる



● ミニタワータイプの場合

1

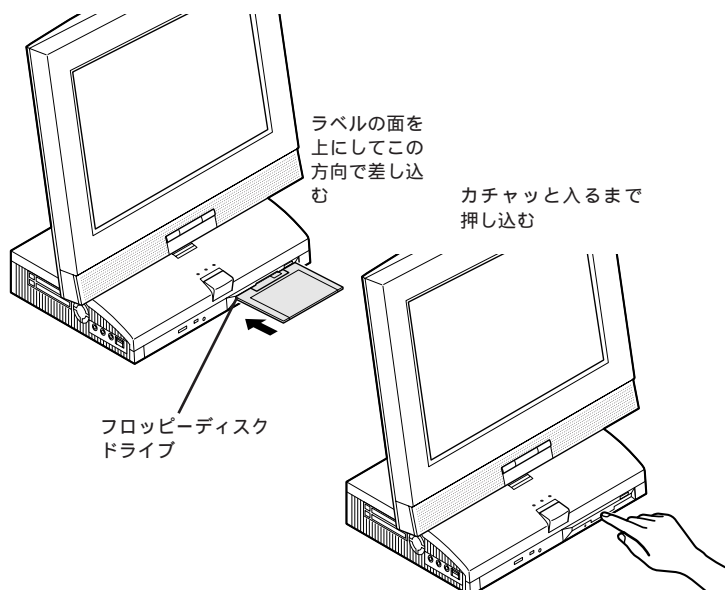
フロッピーディスクドライブに「フロッピーディスク」を入れる



● ボックスレスタイプの場合

1

フロッピーディスクドライブに「フロッピーディスク」を入れる



フロッピーディスクを開く

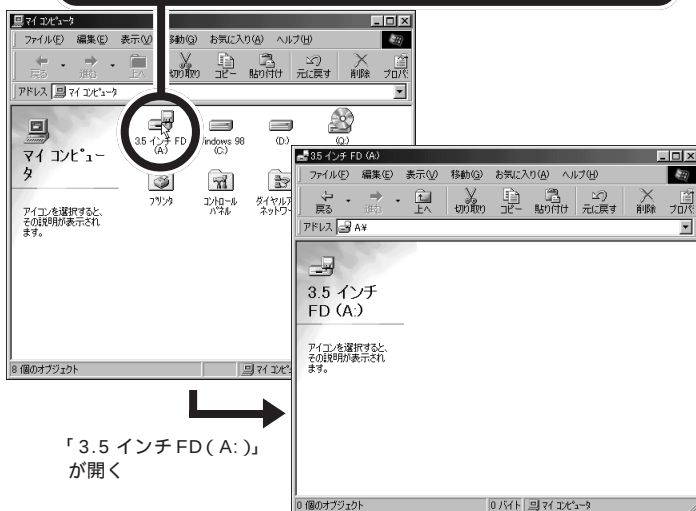
フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れたら、次の操作を行います。

1

(マイコンピュータ)をダブルクリックする

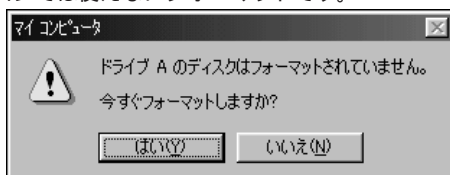
2

(3.5 インチ FD (A:))をダブルクリックする



「今すぐフォーマットしますか？」と聞かれたとき

フロッピーディスクを開いたとき、「今すぐフォーマットしますか？」と表示されたら、このフロッピーディスクは、フォーマットされていないか、このパソコンでは使えないフォーマットです。



✓チェック!!

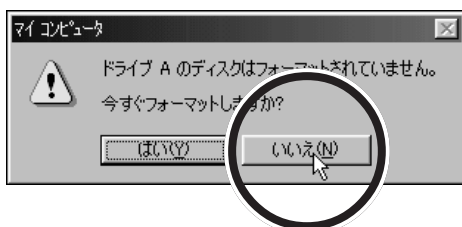
画面は、「今すぐフォーマットしますか？」と言っています。「はい」をクリックするとフォーマットが始まります。買ったばかりのフロッピーディスクであれば心配ありませんが、知り合いに借りたフロッピーディスクなどで、フォーマットが違うフロッピーディスクであれば、そこに入っているデータはすべて消えてしまいます。そういうときは、「いいえ」をクリックして、フロッピーディスクを取り出し、「私のパソコンでは、読めませんでした」と言って返した方がいいでしょう。

✓チェック!!

「未フォーマットのフロッピーディスク」の場合、画面が変わるまで少し時間がかかります。あわてて、アイコンを何回もクリックしたり、電源を切ったりしないようにしてください。

フォーマットしないとき

- 1 「いいえ」をクリックする

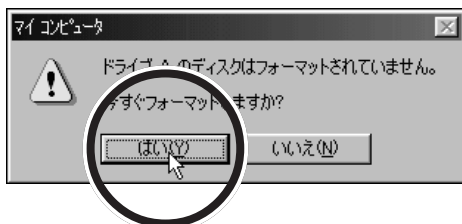


- 2 p.63、64、65の説明にしたがって、フロッピーディスクを取り出す

フォーマットするとき

中に大切なファイルが入っていても、フォーマットすると全部消えてしまいます。注意してください。

- 1 「はい」をクリックする



フロッピーディスクのウィンドウが消えます。

- 2 「通常のフォーマット」をクリックして、「開始」をクリックする



チェック!!

フロッピーディスクは次の容量でフォーマットできます。

2HDのフロッピーディスク 1.44MB

2DDのフロッピーディスク 720KB

2 H D のフロッピーディスクを、1.25MBや720KBにフォーマットすることはできません。

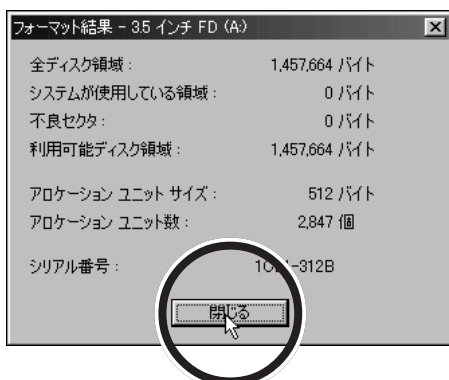
しばらくすると、ウィンドウ下部の棒グラフが右に伸びていきます。



右端まで伸びたらフォーマットは終わりです。

「フォーマット結果」が表示されます。

3 「閉じる」をクリックする



これで、フロッピーディスクは、このパソコンで使えるようになりました。

4 [X] をクリックする



ここでフロッピーディスクの内容を表示するウィンドウが開きますが、新しいフロッピーディスクは空なので、ウィンドウの中は真っ白です。



5 をクリックする



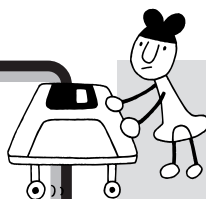
フロッピーディスクのウィンドウを閉じます。



ポイント

フォーマットされていないフロッピーディスクをセットしたときと、このパソコンで使えないフォーマットのフロッピーディスクをセットしたときは、「今すぐフォーマットしますか？」と表示される。フォーマットすると使えるようになる。

フロッピーディスクに ファイルをコピーする



フロッピーディスクに「練習」をコピーします。
フロッピーディスクはハードディスクと違うドライブなので、ドラッグ&ドロップするとコピーされます。あなたが作ったファイルの予備(バックアップ)をフロッピーディスクに作りたいときも、このように操作してください。

1



(マイ ドキュメント)をダブルクリックする



2

「テスト2」のアイコンを
ダブルクリックする

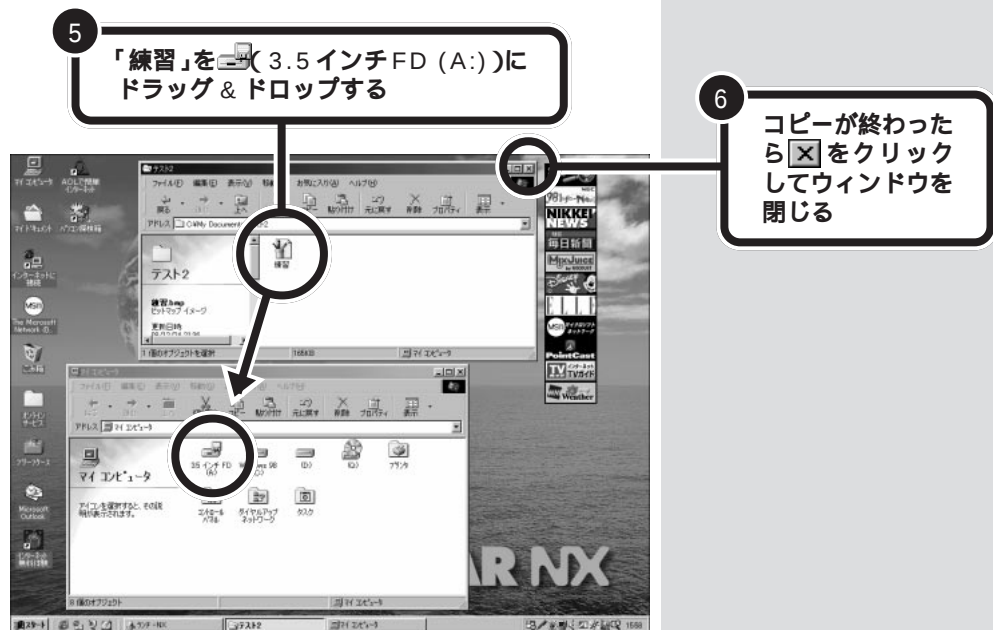
3



(マイコンピュータ)をダブルクリックする

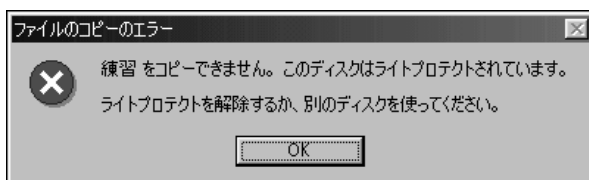
4

ウィンドウの位置を調整する



「練習」はフロッピーディスクにコピーされます。
フロッピーディスクのアイコン(3.5インチFD (A:))をダブルクリックして、中を確認してください。

「このディスクはライトプロテクトされています」と表示されたら

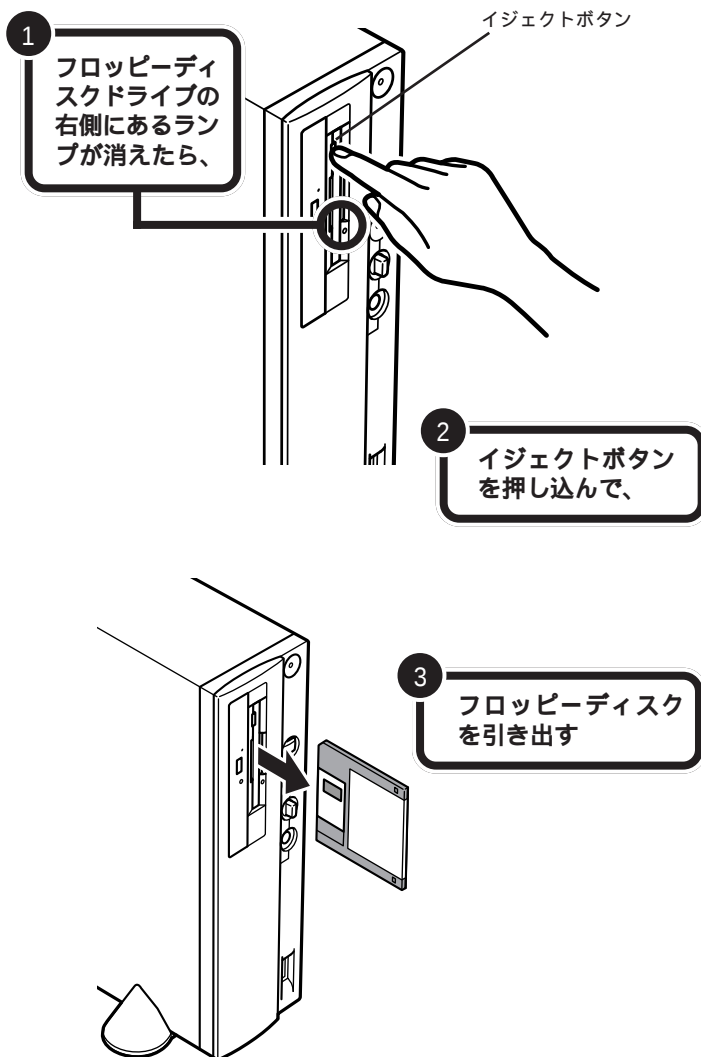


「このディスクはライトプロテクトされています」と表示されたときは、セットしたフロッピーディスクに書き込みができません。このままでは、ファイルをコピーすることができません。
次の「フロッピーディスクを取り出す」に進んで、フロッピーディスクを取り出したら、「ライトプロテクトする」(p.66)を読んでください。
書き込みをしてもいけないフロッピーディスクだったら、ほかの書き込みをしてもいいフロッピーディスクを使って、ファイルのコピーを練習してみてください。
書き込みをしてもいいフロッピーディスクであれば、ライトプロテクトをはずしてから、もう一度、ファイルをコピーしてみてください。

フロッピーディスクを取り出す

フロッピーディスクドライブのランプが消えていることを確認して、フロッピーディスクを取り出します。

• コンパクトタイプの場合



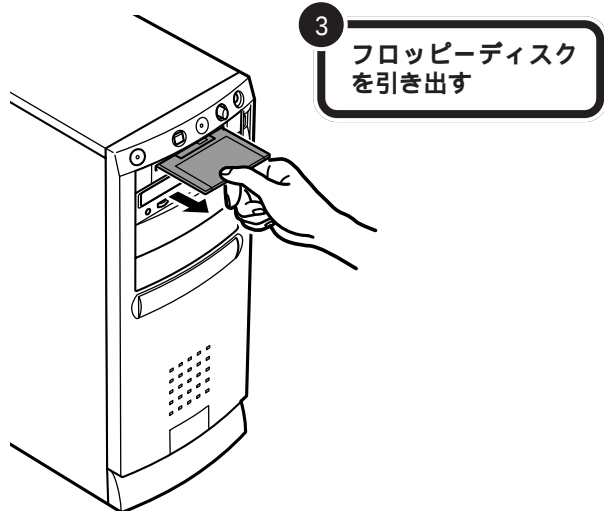
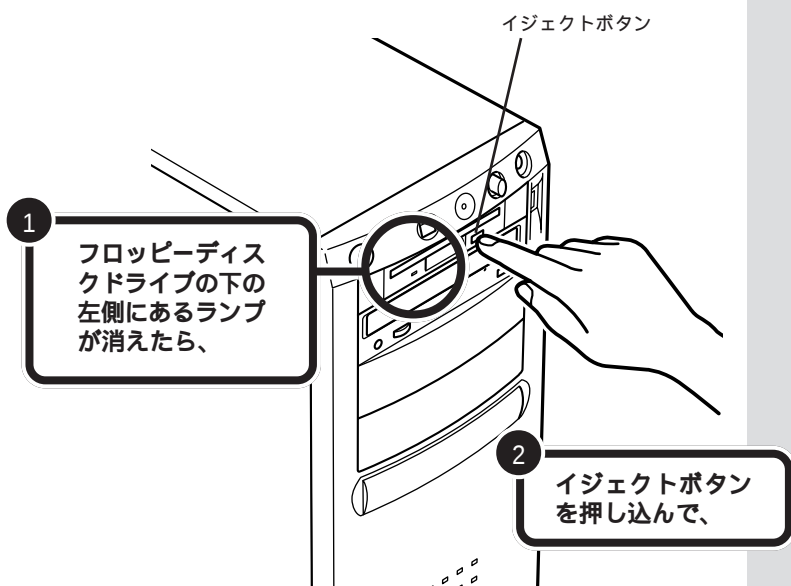
ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの右のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

✓チェック!!

フロッピーディスクドライブの右には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

● ミニタワータイプの場合



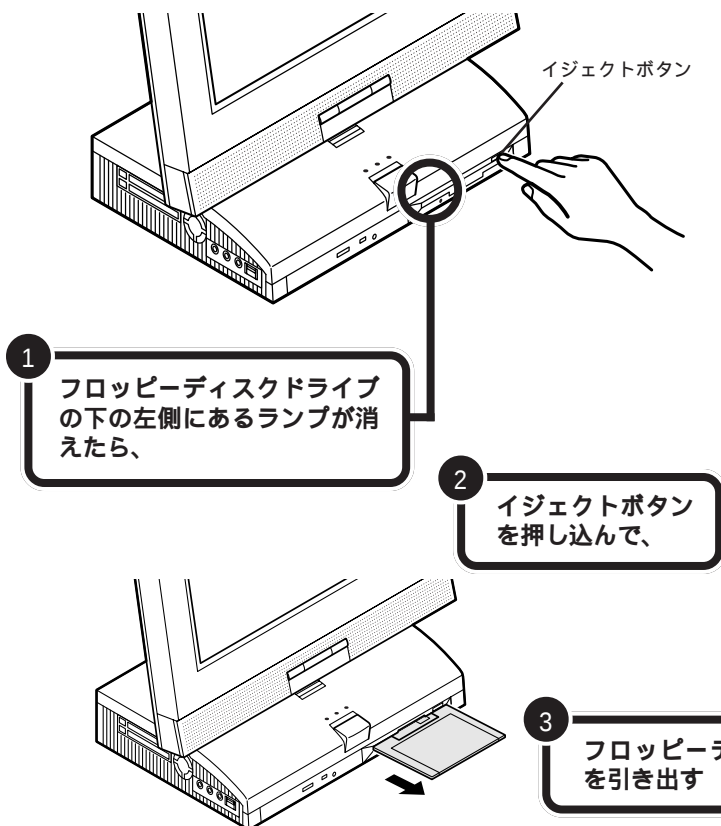
ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの下
のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イ
ジェクトボタンを押す。

✓ チェック!!

フロッピーディスクドライブの下には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

● ボックスレスタイプの場合



ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの下のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

✓ チェック!!

フロッピーディスクドライブの下には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

ライトプロテクトする

フロッピーディスクには、カセットテープやビデオテープのように、記録されている内容をまちがえて消したり書き換えてしまわないように、保護する機能があります。

これを、ライトプロテクト機能といいます。

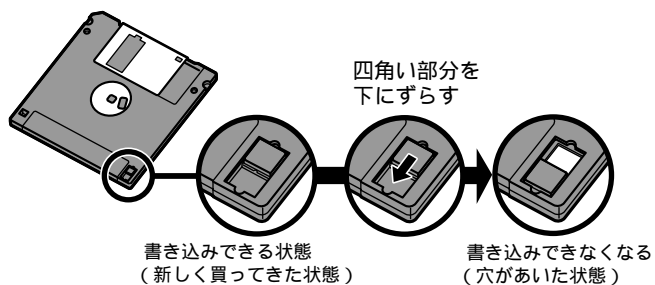
カセットテープは、誤消去防止用のツメを折ると録音できなくなりますが、フロッピーディスクは、裏側のラベルのわきの四角い部分をずらして穴を開けると、書き込みができなくなります。

●書き込みできない状態にすると

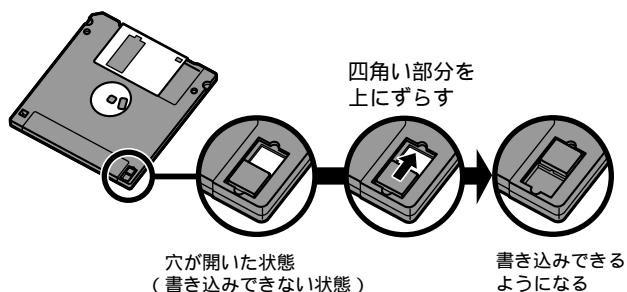
書き込みできない状態にすると、フロッピーディスクに保存されているファイルを読み込むことはできますが、ファイルを保存したり、フロッピーディスクに保存されているファイルを削除することはできません。そのフロッピーディスクに保存されているファイルを開いて編集しても、そのフロッピーディスクには保存できません。

大切なファイルが入っているフロッピーディスクは、誤ってファイルを消去したり、書き換えてしまわないように、ライトプロテクトしておくといいでしょう。

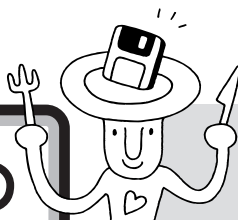
●フロッピーディスクに書き込めないようにする (ライトプロテクトする)



●フロッピーディスクに書き込めるようにする (ライトプロテクトをはずす)



フロッピーディスクの ファイルを開く



ここでは、フロッピーディスクに入っているデータを呼び出す方法を説明します。

さっきのフロッピーディスクにコピーしたファイルを画面に呼び出す(開く)方法を説明します。友人や同僚からフロッピーディスクをもらったときも、こうやってファイルを開くことができます。

用意したフロッピーディスクを、フロッピーディスクドライブに差し込みます。

ここでは、例として、p.61、62の手順で作ったフロッピーディスクを使います。

1

フロッピーディスクを入れる

2

(マイコンピュータ)をダブルクリックする



✓チェック!!

コンピュータウイルスについて「コンピュータウイルス」って聞いたことはありませんか？

コンピュータウイルスは、まるで人間の病気の素となるウイルス(ビールス)のようにふるまう、たちの悪いソフトです。このコンピュータウイルスがパソコンの中に入ると、大切なデータやアプリケーションが壊されたり、パソコンが起動できなくなったりします。

持ち主のわからないフロッピーディスクを使うと、コンピュータウイルスに感染するおそれがあります。ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかを確認することをおすすめします。

このパソコンには、ウイルスチェックソフト「VirusScan(ウィルスキャン)」が添付されています。フロッピーディスクやハードディスクにウイルスが入っていないかを確認することができます。

📖 参照

VirusScanの使いかた→『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除 VirusScan」



3 (3.5 インチ FD (A:))
をダブルクリックする



4 「練習」をダブルクリックする

↓
フロッピーディスク
の内容が表示される

ペイントが起動し、「練習」が表示される

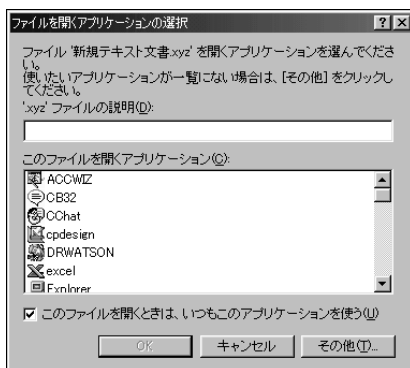


5 [X] をクリックする

次のウィンドウが表示されたとき



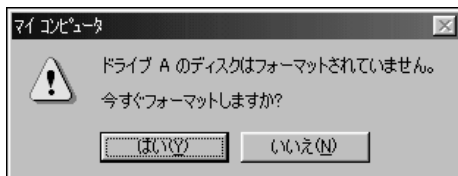
「ファイルを開くアプリケーションの選択」という画面が表示されたら



いま、開こうとしたファイルを作ったアプリケーションが、あなたのパソコンに入っていないときにこのメッセージが出ます。そのファイルを開くことはできません。フロッピーディスクを取り出して、持ち主に相談してください。



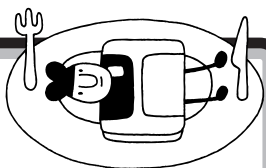
「今すぐフォーマットしますか?」と表示されたら



他の人からもらったフロッピーディスクや、未フォーマットのフロッピーディスクを入れたときなどは、上のように表示されることがあります。

このようなときは、「今すぐフォーマットしますか?」と聞かれたとき」(p. 57)をご覧ください。

ファイルの 大きさを見る



フロッピーディスクには、いろいろなファイルを入れることができますが、画像などの容量が大きなファイルをいくつも入れることはできません。

ファイルやフォルダのウィンドウの表示を変えて、ファイルの大きさを見てみましょう。

ファイルの大きさは、バイトという単位で測ります。アルファベットや数字などが1文字で1バイト、漢字やひらがななどの日本語の文字は1文字で2バイトになります。これらが集まって、1000バイト(正確には1024バイト)になると、それはkm(キロメートル)やkg(キログラム)などのようにKB(キロバイト)という単位で呼ばれます。KBの約1,000倍がMB(メガバイト)。ハードディスクの大きさを言うときに使うGB(ギガバイト)はさらにその約1,000倍です。

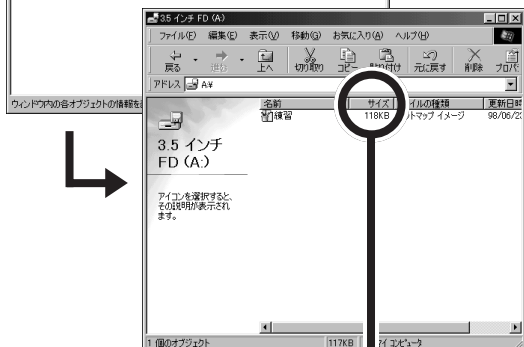
1

「表示」をクリックし、



2

「詳細」をクリックする



ファイルの大きさが表示される



ポイント

ファイルの容量は、バイト、KB(キロバイト)、MB(メガバイト)などを単位に数える。



キロバイト メガバイト ギガバイト
KB、MB、GB

ファイルの容量などの情報の単位。KBはキロバイト、MBはメガバイトと読みます。1バイトの千倍が1KB(キロバイト)、その千倍が1MB(メガバイト)、さらにその千倍が1GB(ギガバイト)。2HDのフロッピーディスクの容量は1.44MB。つまり、約1400KBなので100KBのファイルが14個入ります。たとえば3GBのハードディスクには、フロッピーディスク約2,100枚分のファイルを入れることができます。

この PARTの まとめ

ここでは、フロッピーディスクの使いかたを勉強しました。

フロッピーディスクを買うときは

新しいフロッピーディスクを買うときは、「3.5 インチ 2HD タイプ Windows フォーマット済みフロッピーディスク」か「3.5 インチ 2HD タイプ DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」を選んでください。「未フォーマットのフロッピーディスク」は、使う前に「フォーマット」の作業が必要です。

フロッピーディスクにファイルをコピーする

フロッピーディスクにファイルをコピーするときも、フロッピーディスクに入っているファイルをハードディスクにコピーするときも、ドラッグ&ドロップでコピーできます。

フロッピーディスクを取り出す

フロッピーディスクドライブの下(または右)のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押してください。

フロッピーディスクドライブの下(または右)のランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクにファイルを保存したり、フロッピーディスクの内容を読み込んでいるときです。しばらく待ってください。

ファイルの大きさ

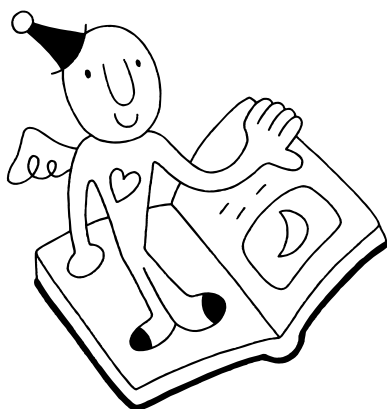
2HD のフロッピーディスクには、1.44MB(メガバイト)分のファイルが入ります。「MB」は「KB(キロバイト)」の約1,000倍です。

P A R T

5

設定を変えてみよう

さて、ファイルのコピーや移動を卒業して、今度は、デスクトップの背景の模様(壁紙)やスクリーンセーバーを変えてみましょう。ヘルプの使いかたも勉強しておく、きっと役に立ちます。



画面の設定を 変える



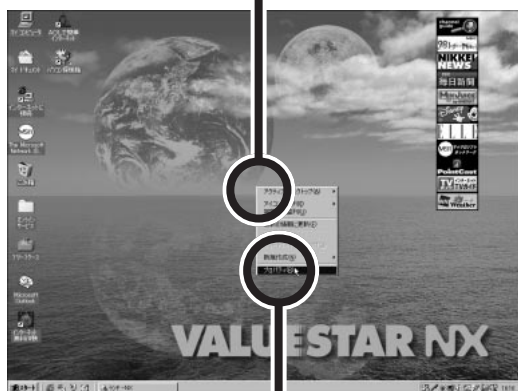
Windows 98では、次のように、画面の設定を変えることができます。

背景を変える

デスクトップの背景(地の部分)は、好きな模様や壁紙を選ぶことができます。「雲」という壁紙を選んでみましょう。

1

デスクトップのなにもないところで右クリックする



2

「プロパティ」をクリックする

「画面のプロパティ」が表示されます。ここで解像度や背景やスクリーンセーバーの設定ができます。



用語

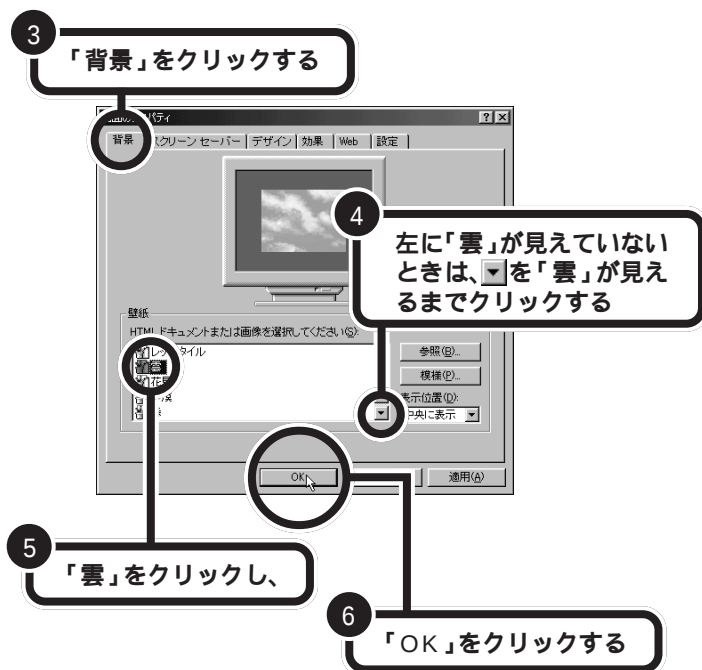
プロパティ

設定のこと。

Windows 98では、設定を変えたり、設定情報を見たいときは、「プロパティ」ウィンドウを表示します。

デスクトップのなにもないところを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックすると、「画面のプロパティ」タスクバーのなにもないところでは「タスクバーのプロパティ」が表示されます。ドライブのアイコンでは、「ドライブのプロパティ」が表示され、ドライブ名を変更したり、容量を見たりすることができます。

機種によっては表示されるタブ(→ p.75)が異なりますが、操作の内容は同じです。



背景が「雲」に変わります。



設定を変えるときに失敗しないコツは、設定を変える前にどんな設定になっていたかをメモしておくこと（新しい設定を試してみたけど、前の設定の方がよかったということがきっとある）

手順 5 で変えたい画面をクリック（選択）すると、上にその見本が表示されます。

「表示位置」で「中央に表示」を選ぶと、デスクトップのまん中だけに壁紙が表示されます。「並べて表示」または「拡大」を選ぶと、デスクトップ全体が壁紙になります。

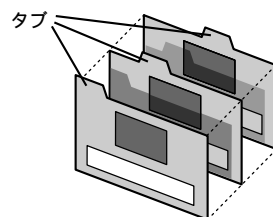


「模様」を選ぶときは、「壁紙」で、「(なし)」を選ぶか、「表示位置」で「中央に表示」を選んでください。

用語

タブ

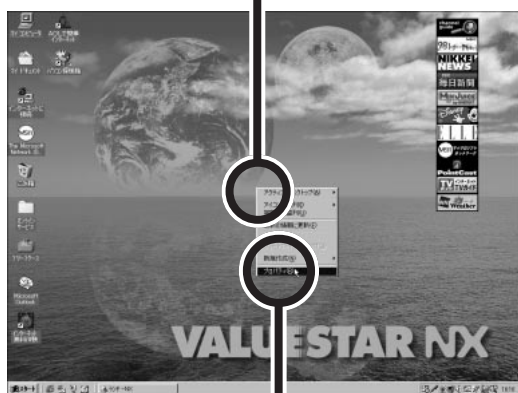
左の「背景」などのように、ひとつのウィンドウに何枚かのシートが重なっているとき、ウィンドウの上の方に、それぞれのシートのタイトルをつけたものをタブといいます。左上の「画面のプロパティ」ウィンドウには、「背景」、「スクリーンセーバー」などのシートが重なっています。このタブをクリックすると、そのシートが表示されます。



スクリーンセーバーを使う

パソコンを操作しないで放っておくと、いろいろな動画(スクリーンセーバー)が表示されるように設定することができます。設定した分数の間、操作をしないとスクリーンセーバーの画面が表示されるようになります。ここでは、「3D迷路(OpenGL)」というスクリーンセーバーを選んでみましょう。

1 デスクトップのなにもないところで右クリックする



2 「プロパティ」をクリックする

3 「スクリーンセーバー」をクリックする



4 「スクリーンセーバー」のリストの右の▼をクリックする

5 「3D迷路(OpenGL)」をクリックする

用語

スクリーンセーバー

パソコンを起動したまま、操作をしないで放っておくと、同じ画面が表示されたままになるので、ディスプレイに跡がついてしまうことがあります。スクリーンセーバーは、これを防止するために、なにも操作しないで一定の時間が経過すると、自動的に動画が表示されるようにするものです。

ただ、実際には、使っていないときの画面を楽しむためのアクセサリーと考えた方がいいでしょう。

ディスプレイの省電力機能

「ディスプレイの省電力機能」の設定は、「スクリーンセーバー」タブの下の方にある「設定」をクリックして表示される、「電源の管理のプロパティ」でできます。

参照

ディスプレイの省電力機能 → 『リファレンス』PART2の「ディスプレイ」

ディスプレイの絵の画面部分に、選んだ
スクリーンセーバーが表示される



6 「OK」をクリックする

14分以上なにも操作をしないでいると、スクリーンセーバーの画面になります。

キーボードまたはマウスを操作すると、元の画面に戻ります。

「プレビュー」をクリックすると、選んだスクリーンセーバーが表示されます。マウスを動かすと、元の画面に戻ります。

何分間操作しないとスクリーンセーバーになるかを「待ち時間」で設定することができます。1分より短く設定することはできません。

「待ち時間」の入力欄をクリックしてキーボードから入力するか、入力欄の右にあるボタンをクリックして設定します。

✓チェック!!

購入時の状態では、20分間以上なにも操作しないとスタンバイ状態になり、画面が暗くなるように設定されています。キーボードまたはマウスを操作すると、元に戻ります。

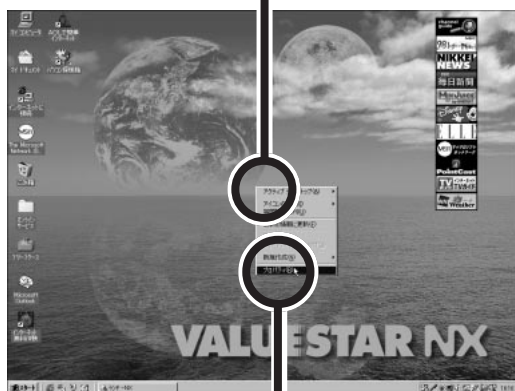
📖参照

スタンバイについて→『リファレンス』PART2の「省電力機能(スタンバイ)」

画面の解像度を変える

画面が狭いと思うときは、解像度(デスクトップ領域)を大きく設定してください。また、文字が小さくて読みにくいときは、解像度を小さく設定してください。

1 デスクトップの何もないところで右クリックする



2 「プロパティ」をクリックする

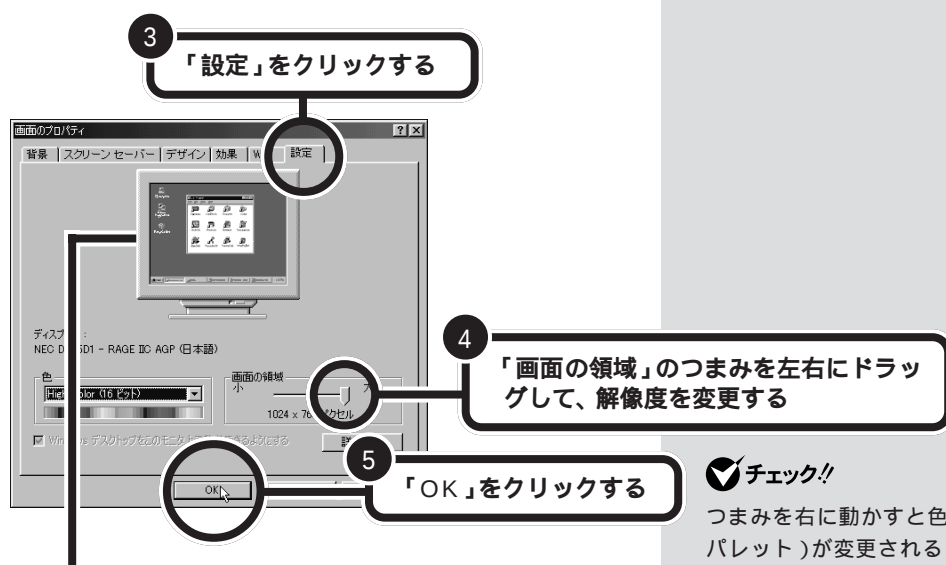
用語

解像度

パソコンの画面は、たくさんの光の点(ピクセル)の集まりです。解像度は、画面の縦、横に、どれだけの点を表示するかを示します。解像度を上げると、画面上のものを細かく表示できるようになるので、アイコンやウィンドウが小さく表示され、その分、デスクトップが広く使えるようになります。

📖参照

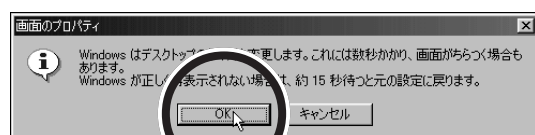
タスクバーから解像度を変える→『リファレンス』PART2の「ディスプレイ」



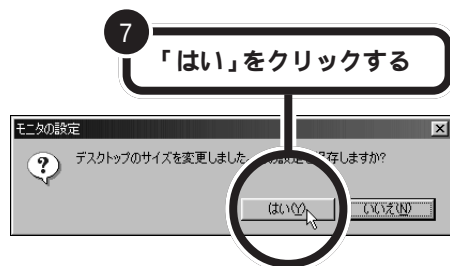
ディスプレイの絵の画面部分に、変更後のデスクトップの様子が表示される

✓チェック!!

つまみを右に動かすと色数(カラーパレット)が変更されることがあります。



解像度が変わり、「ディスプレイの設定」ダイアログが表示されます。



●元に戻したいときは

このパソコンを購入したときは、解像度(画面の領域)は「1,024 × 768 ピクセル」に設定されています。元に戻したいときは、ここで行った操作をやり直してください。そのとき、「画面の領域」のつまみは、「1,024 × 768 ピクセル」と表示される位置にドラッグしてください。

✓チェック!!

液晶ディスプレイセットモデルに添付の液晶ディスプレイ、CRTディスプレイセットモデルに添付の15インチCRTディスプレイ、ボックスレスタイプのディスプレイでは、1,152 × 864ピクセル、1,280 × 1,024ピクセルの解像度で表示することはできません。

画面の色数を変える

CD-ROMソフトなどには、画面に表示できる色数が256色でないと使えないものがあります。このようなソフトを使うときは、ソフトに合わせて画面の色数を変えてください。

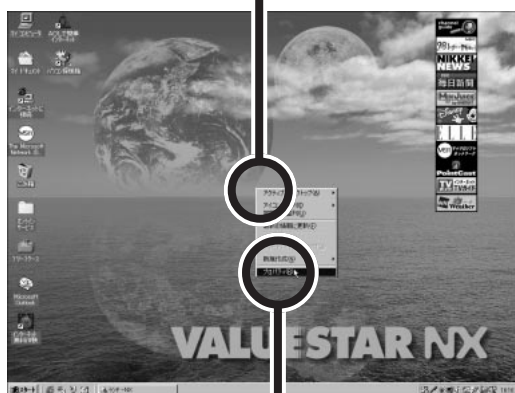
ただ、画面の色数を減らすと、写真やイラストの微妙な濃淡が表現できなくなり、粗い画像になります。256色に設定するときと同じ方法で、元の設定にすることができるので、必要に応じて使い分けてください。

画面の色数を変えるとアプリケーションによっては色が正しく表示されない場合があります。

参照

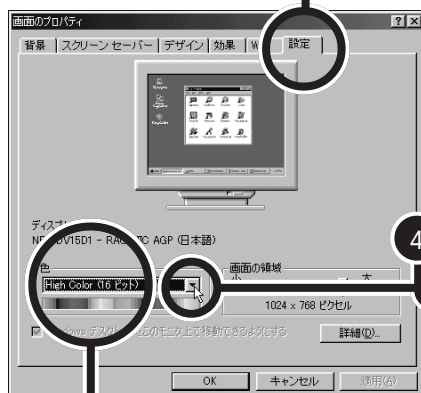
タスクバーから色数を変える → 『リファレンス』PART2の「ディスプレイ」

1 デスクトップのなにもないところで右クリックする



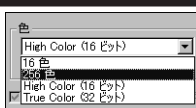
2 「プロパティ」をクリックする

3 「設定」をクリックする



4 「色」の▼をクリックする

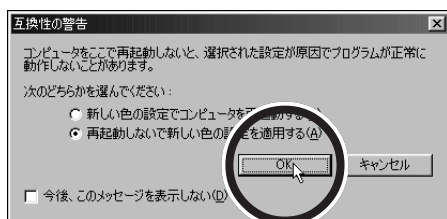
5 「256色」をクリックする





6

「OK」をクリックする



7

「互換性の警告」と表示されたときは、「OK」をクリックする

画面の色数が変わります。

「プログラムが正常に動作しないことがあります」と表示されますが、異常ではありません。

このパソコンは、購入時には、「High Color(16 ビット)」に設定されています。

同じように操作して、手順 5 で「High Color(16 ビット)」を選ぶと元の色数に戻すことができます。

コントロール パネルを活用する



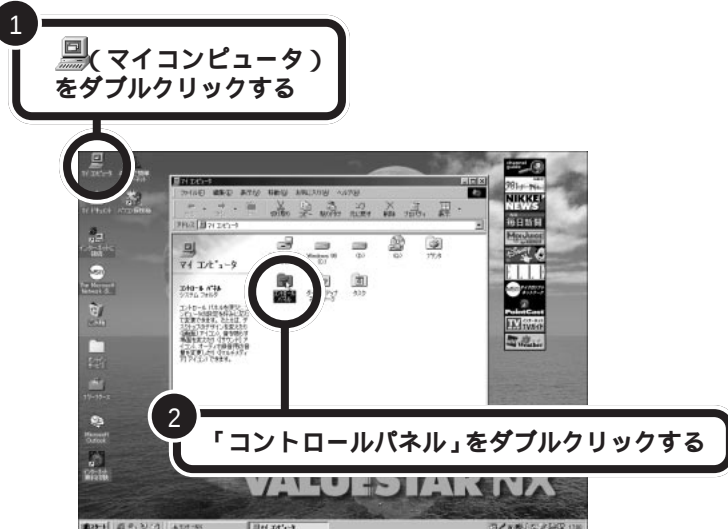
Windows 98 のいろいろな設定をするときは、コントロールパネルを使います。

コントロールパネルを開く

コントロールパネルは、次のようにして表示します。



コントロールパネルは、次の方法で開くこともできます。



コントロールパネルが開きます。

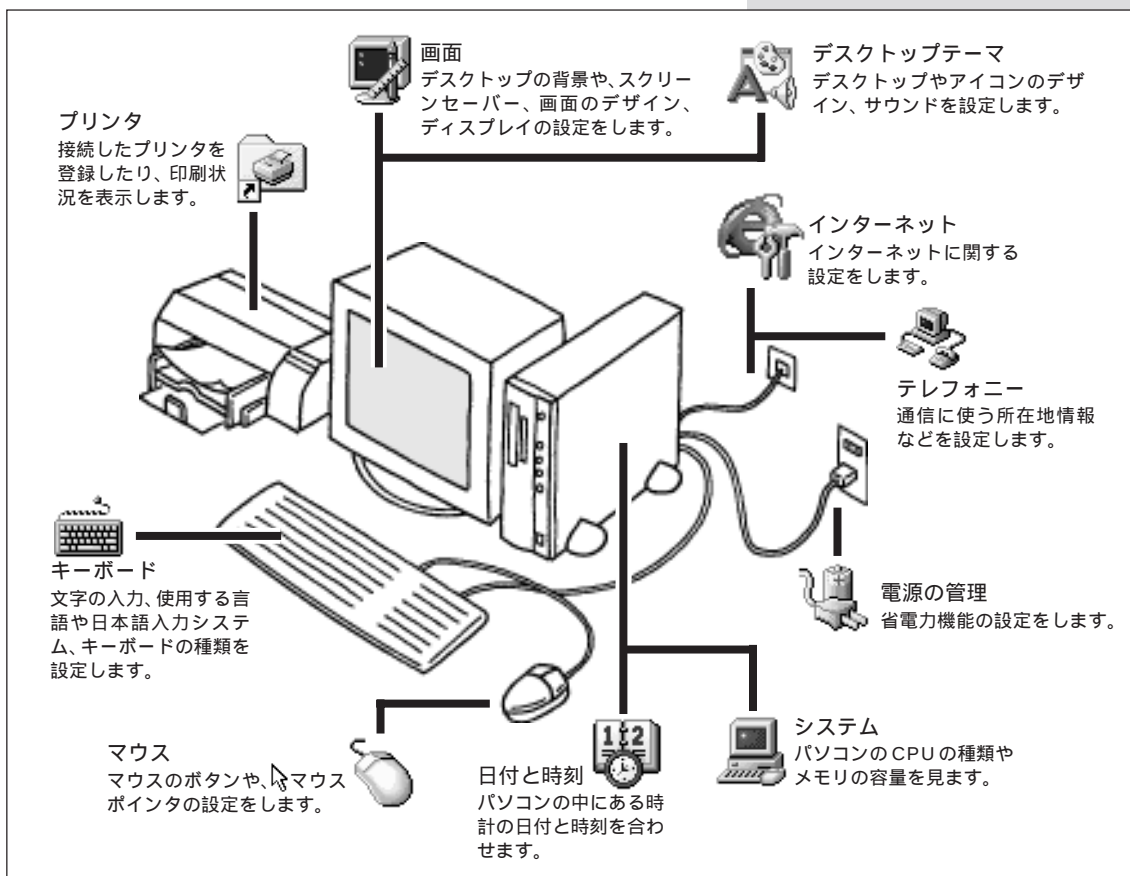


「コントロールパネル」のアイコンをクリックすると、ウィンドウの左側にそのアイコンでどんなことができるかが表示されます。アイコンを開くと、パソコンの周辺機器やフォントやアプリケーションなどいろいろな設定ができます。パソコンを使いこなしていくにはきっと必要になってくると思いますが、いまは、ここにこういうものがあるということだけ知っておいてください。

このパソコンは、CyberTrio-NX(サイバートリオ・エヌエックス)というソフトによって、購入したままの状態では、「ベーシックモード」になっています。ベーシックモードでは、コントロールパネルの一部のアイコンは使用できません。また、「プリンタ」の一部の機能は使えません。使用できないアイコンで設定したいときは、CyberTrio-NX の設定を「アドバンストモード」に変えてください。

参照

CyberTrio-NX → 『リファレンス』
PART1の「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX 」



これはコンパクトタイプの例です

デスクトップテーマを使う

デスクトップの背景やアイコンのデザイン、サウンドを変更できます。
ここでは、「トラベル」というテーマを選んでみましょう。

- 1 「コントロールパネル」で (デスクトップテーマ) をダブルクリックする



- 2 「テーマの」の をクリックする

- 3 「トラベル (high color)」をクリックする



- 4 「OK」をクリックする

デスクトップの背景とアイコンが変更されます。



ヘルプについて



Windows 98 の操作がわからないときは、次のようにヘルプを表示します。

ヘルプには、Windows 98 の操作方法がトピック別に説明されています。

用語

ヘルプ

Windows 98 や一太郎、Word などの使いかたをパソコンの画面上に表示するものです。つまり、パソコンの画面で見るマニュアルです。

Windows のヘルプを見る

1

「スタート」をクリックし、



2

「ヘルプ」をクリックする

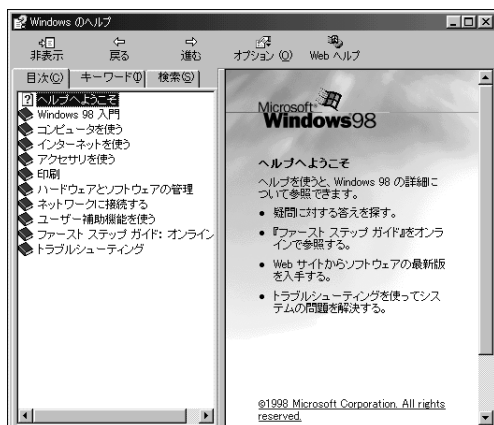
アプリケーションのヘルプは、メニューバーの「ヘルプ」メニューの中から選んで表示します。

Windows のヘルプは「スタート」のメニューから表示します。

追加情報にも重要な情報が記載されています。

追加情報は、「スタート」をクリックして「プログラム」-「追加情報」を選択してください。

「Windows のヘルプ」ウィンドウが表示されます。



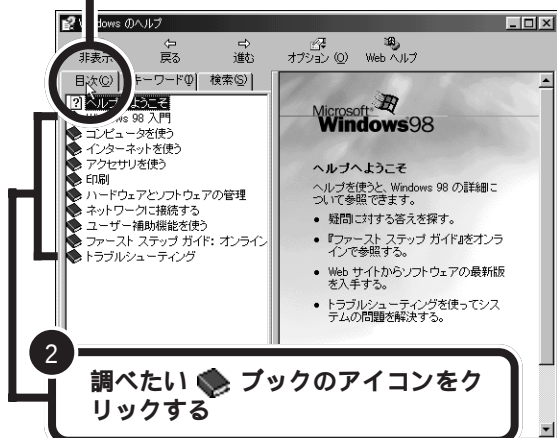
知りたい情報は、「目次」「キーワード」「検索」から探し出すことができます。

● 目次で探す

ブックと ? トピックの一覧が表示されます。ブックは、その中に、またいくつかの項目があることを示しています。ブックをクリックすると、その中の項目が表示されます。

1

「目次」をクリックする

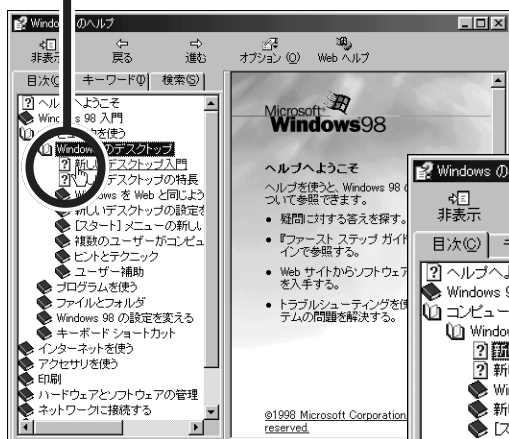


2

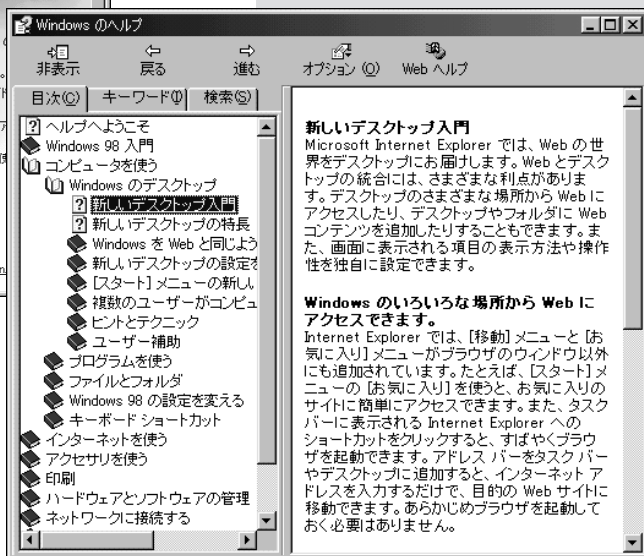
調べたいブックのアイコンをクリックする

3

内容を表示したい ? トピックをクリックする



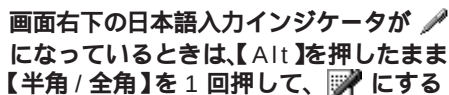
トピックの内容が表示される



一太郎や Word などのアプリケーションにもヘルプがついています。アプリケーションのウィンドウの「ヘルプ」メニューの「目次」などを選ぶと表示され、Windowsのヘルプと同じような使い方ができます。アプリケーションの使いかたがわからないときに使ってみましょう。また、ウィンドウによっては、右上に ? (ヘルプボタン) があるものがあります。この ? をクリックし、マウスポインタが ? になったら、そのウィンドウの中の項目をクリックしてください。その項目の解説が表示されます。

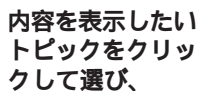
キーワードの例として「印刷」と入力します。

「キーワード」をクリックする



「印刷」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する

トピックの一覧が自動的にスクロールし、入力した語句と一致するトピックが表示される

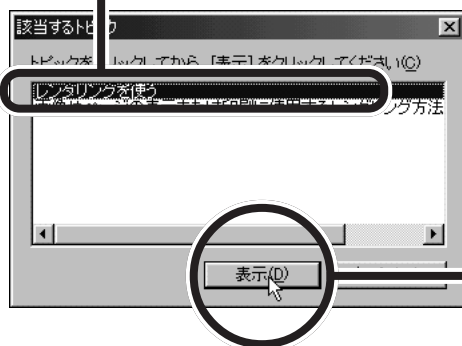


「表示」をクリックする

キーワードに関連する項目(トピック)が表示されます。

6

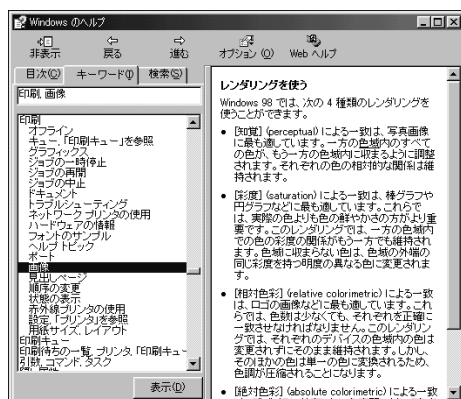
内容を表示したいトピックを選び、



7

「表示」をクリックする

トピックの内容が表示されます。



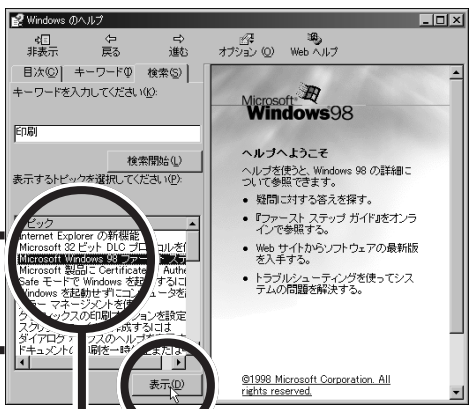
● 検索で探す

検索を使うと、入力したキーワードを含むトピックをヘルプ全体の中から探すことができます。

キーワードの例として「印刷」と入力します。

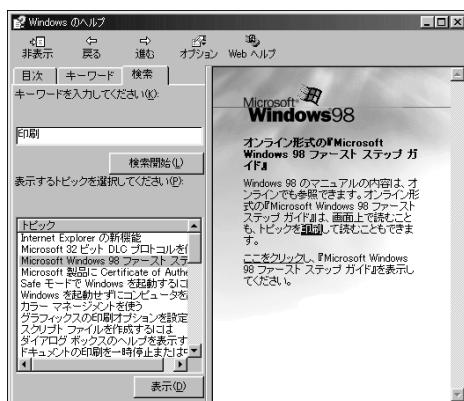
- 1 「検索」をクリックする
- 2 画面右下の日本語入力インジケータが  になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を 1 回押して、 にする
- 3 「印刷」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する
- 4 「検索開始」をクリックする

入力したキーワードを含むトピックの一覧が表示される



- 5 内容を表示したいトピックをクリックして、
- 6 「表示」をクリックする

トピックの内容が表示されます。
キーワードの部分は反転表示されます。



この PARTの まとめ

ここでは、パソコンの設定の換えかたや、「ヘルプ」の使いかたについて見てきました。

画面の設定

画面に表示できる色数や解像度、スクリーンセーバー、壁紙などは、デスクトップのなにもないところで右クリックして、「プロパティ」を選び、表示されたウィンドウで設定します。

プロパティ

Windows 98 の用語で設定のことです。

コントロールパネル

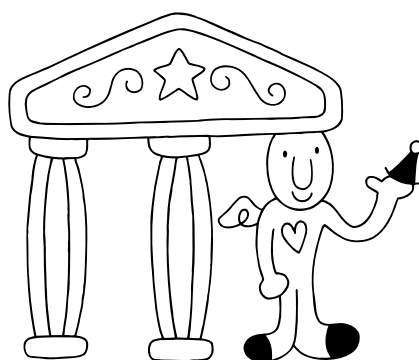
「コントロールパネル」を使うと、パソコンのいろいろな設定を変えることができます。「コントロールパネル」の「デスクトップテーマ」では、デスクトップやアイコンのデザイン、サウンドを変えることができます。

ヘルプ

Windows 98 やアプリケーションの使いかたなどで、わからないことがあったら、「ヘルプ」を見てみましょう。パソコン上で調べることができます。

「Windowsのヘルプ」は、「スタート」メニューの「ヘルプ」から、アプリケーションのヘルプは、アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」メニューの中から選んで表示します。

付 録



パソコンでWindows 98 を学ぶ

このパソコンに付属の「パソコン大学一年生 for Windows98」を使えば、パソコンの画面を見ながら、Windows 98の基本を学ぶことができます。

- 1 「パソコン大学一年生 CD-ROM」を正しい手順でパソコンのCD-ROMドライブに入れる。
- 2 「スタート」プログラム「パソコン大学一年生 for Windows98」
「一年生 Windows98」をクリックする。

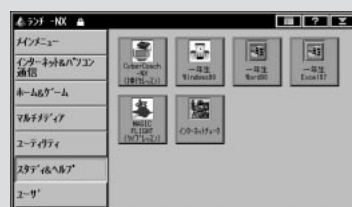


「パソコン大学一年生 for Windows98」が起動します。

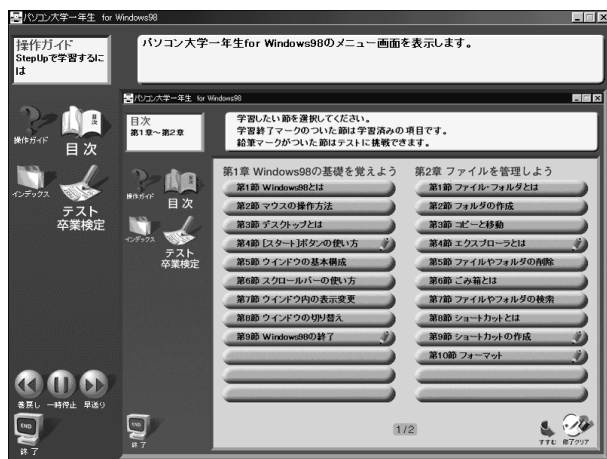
参照

CD-ROM をセットする方法について → 『STEP2 入門』PART9 の「CD-ROMの扱い方」

「パソコン大学一年生 for Windows 98」はランチ-NXからも起動できます。



「スタディ & ヘルプ」の「一年生 Windows98」をクリックする。



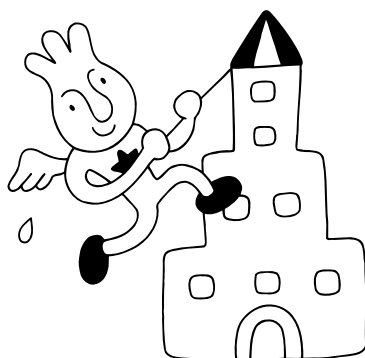
あとは、画面とスピーカから流れる声の指示にしたがって操作してください。

「パソコン大学一年生 for Windows98」が終わったら、正しい手順でCD-ROMを取り出してください。

参考

CD-ROM を取り出す方法について
→『STEP2 入門』PART9の「CD-ROMの扱い方」

索引



数字

256色	79
2DD	52
2HD	52
3.5インチ	52
3.5インチFD (A:)	8
5インチ (5.25インチ)	52
8インチ	52

英字

CD-ROMドライブ	8
CyberCoach-NX	4
CyberTrio-NX	82
Cドライブ	9
DVD-ROMドライブ	8
GB (ギガバイト)	70
High Color (16ビット)	80
KB (キロバイト)	70
MB (メガバイト)	70
My Documents	20, 32, 33
(Q:)	8
Windows 98 (C:)	8

あ行

アイコン	2
アクセサリ	25
新しいフォルダ	20
移動	32, 39
今すぐフォーマットしますか?	57
色数	79
インジケータ領域	3
ウイルススキャン	67
ウィンドウが重なって、見えないとき	37
ウィンドウの大きさを変える	37
ウィンドウを動かす	37
ウィンドウを手前にする	37
上へ	15
エクスプローラ	12

か行

解像度	77
壁紙	74
キーワード (ヘルプ)	86

ギガバイト	70
キロバイト	70
クイック起動ツールバー	2
検索	47, 88
このディスクは ライトプロテクトされています	62
コピー	38
ごみ箱	2, 42
コントロールパネル	81
コンピュータウイルス	67

さ行

サイズ	49
サイバーコーチ・エヌエックス (CyberCoach-NX)	4
サイバートリオ・エヌエックス (CyberTrio-NX)	82
削除	42
サブフォルダ	48
シーディー・ロムドライブ (CD-ROMドライブ)	8
時刻	82
ショートカット	45
省電力機能	76
スクリーンセーバー	76
スクロール	10
スクロールバー	10
スタート	2, 4
スタートメニュー	4
設定	74

た行

タスクトレイ	3
タスクバー	3
タブ	75
チャンネルバー	3
追加情報	84
ディスク	7
ディスプレイの省電力機能	76
ディーブイディー・ロムドライブ (DVD-ROMドライブ)	8
デスクトップ	2
デスクトップテーマ	82, 83
デスクトップ領域	77

閉じる	11
トピック	85
ドライブ	7
ドラッグ	10
ドラッグ&ドロップ	32

な行

日本語入力インジケータ	23
-------------------	----

は行

背景	74
バイト	70
パソコン大学一年生 for Windows98	92
日付	82
開く	9
ファイルの上書きの確認	41
ファイルのアイコン	10
ファイルの種類	49
ファイル名、フォルダ名に使えない文字	23
ファイル名を変える	23
ファイルを移動する	32
ファイルを検索する	47
ファイルをコピーする	38
ファイルを探す	47
ファイルを整理する	18
ファイルを開くアプリケーションの選択	69
ファイルを保存する	26
フォーマット	53
フォルダ	9
フォルダ名を変える	23
フォルダをコピーする	38
フォルダを作る	20
複数のファイルを選ぶ	40
複数のフォルダを選ぶ	40
ブック	85
プログラム	4
フロッピーディスク	52
フロッピーディスクドライブ	53
プロパティ	74
ベーシックモード	82
ペイント	24
ペイントを終わる	28
ヘルプ	84

ヘルプのキーワード	86
ヘルプの検索	88
ヘルプの目次	85

ま行

マイコンピュータ	2, 7
マイ ドキュメント	2, 32, 33
メガバイト	70
目次 (ヘルプ)	85

ら行

ライトプロテクト	66
ランチ-NX	3

わかる、できる、役に立つ!!

インストールガイド



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

2版 1999年3月

NEC

P

808-881444-184-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

